

ACAD-DENKI

NetWork版Repriseライセンスアクティベート説明書
(対象バージョン: 2026)

2025年10月

図研アルファテック株式会社

目次

●はじめに ……p5～

- ◆新規手順/ライセンス更新の流れ
- ◆サーバー変更の流れ
- ◆アクティベーションファイル/ライセンスファイル
- ◆ライセンスファイルの入手(1.シングル/2.冗長)
- ◆Webアクティベートの仕組み

●新規手順 ……p12～

- ◆アルファテックRepriseライセンス管理サービスのインストール
- ◆ライセンスアクティベート(シングル)
- ◆ライセンスファイル設置(冗長)
- ◆Windowsサービス登録/作成・確認
- ◆ライセンスサーバー管理/サービスの更新
- ◆ファイアウォール設定
- ◆クライアント設定

目次

- バージョンアップ、製品変更 ……p28～
 - ◆ライセンス更新/バージョンアップ(シングル)
 - ◆アクティベート/製品変更(シングル)
 - ◆ライセンス更新(冗長)
 - ◆サービスの再起動
- サーバー変更 ……p33～
 - ◆ライセンスファイル削除
 - ◆サービスの停止・削除
 - ◆ライセンス管理サービスのアンインストール
 - ◆新サーバーの構築
 - ◆クライアントPCライセンス形式の設定変更

目次

- オフラインアクティベート ……p39～
 - ◆ オフラインアクティベート概要
 - ◆ オフラインアクティベートの仕組みと流れ①～④
 - ◆ オフラインアクティベート①準備、②送付
 - ◆ オフラインアクティベート④受領とインポート

- オフラインアクティベート/「新規手順」での構築 ……p45～
 - ◆ Windowsサービス登録/サービスの作成・確認
 - ◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新
 - ◆ ファイアウォール設定
 - ◆ クライアント設定

- アクティベート解除 ……p58～
 - ◆ アクティベート解除

はじめに

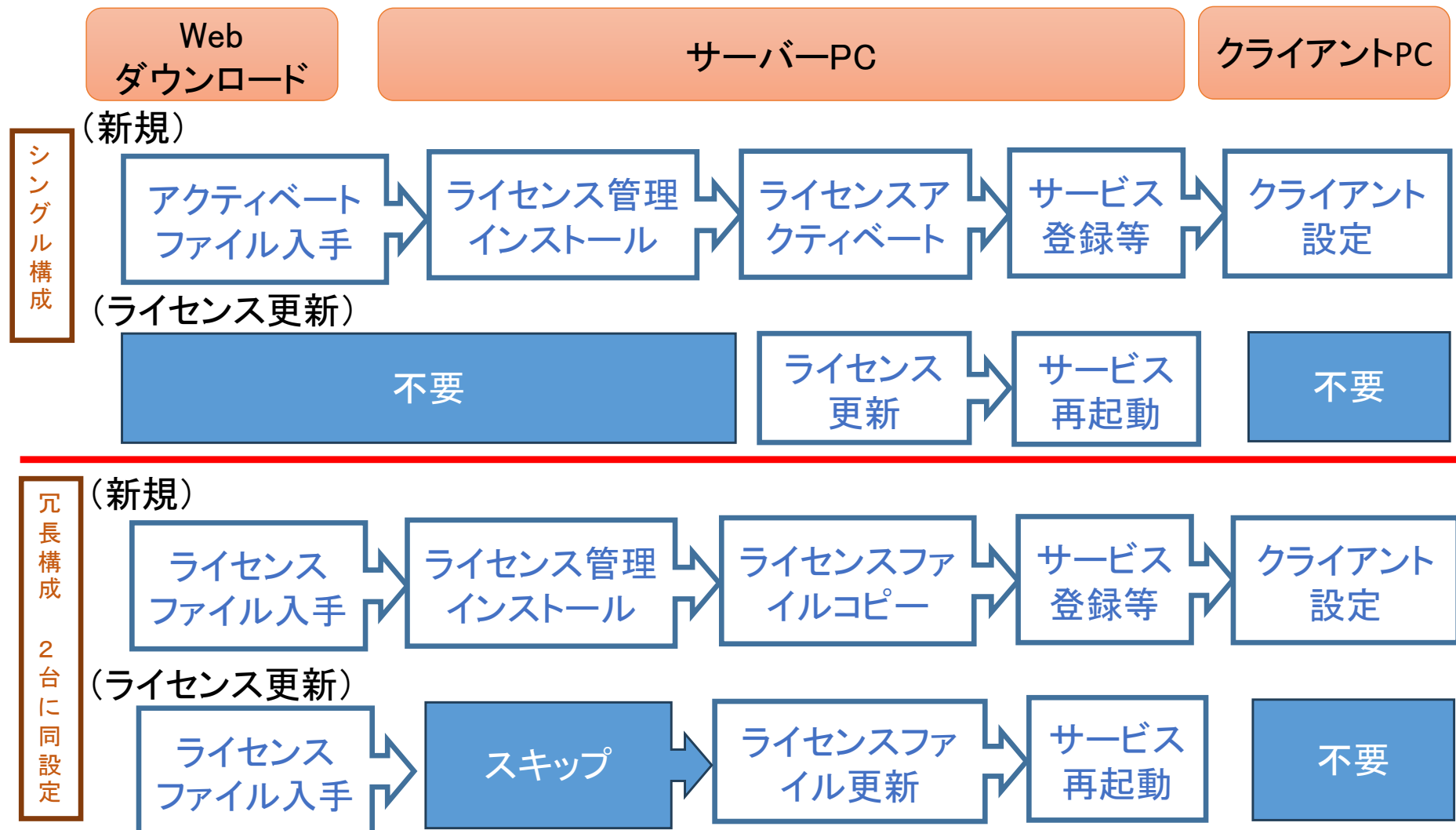
●はじめに

- ◆新規手順/ライセンス更新の流れ
- ◆サーバー変更の流れ
- ◆アクティベーションファイル/ライセンスファイル
- ◆ライセンスファイルの入手(1.シングル/2.冗長)
- ◆Webアクティベートの仕組み

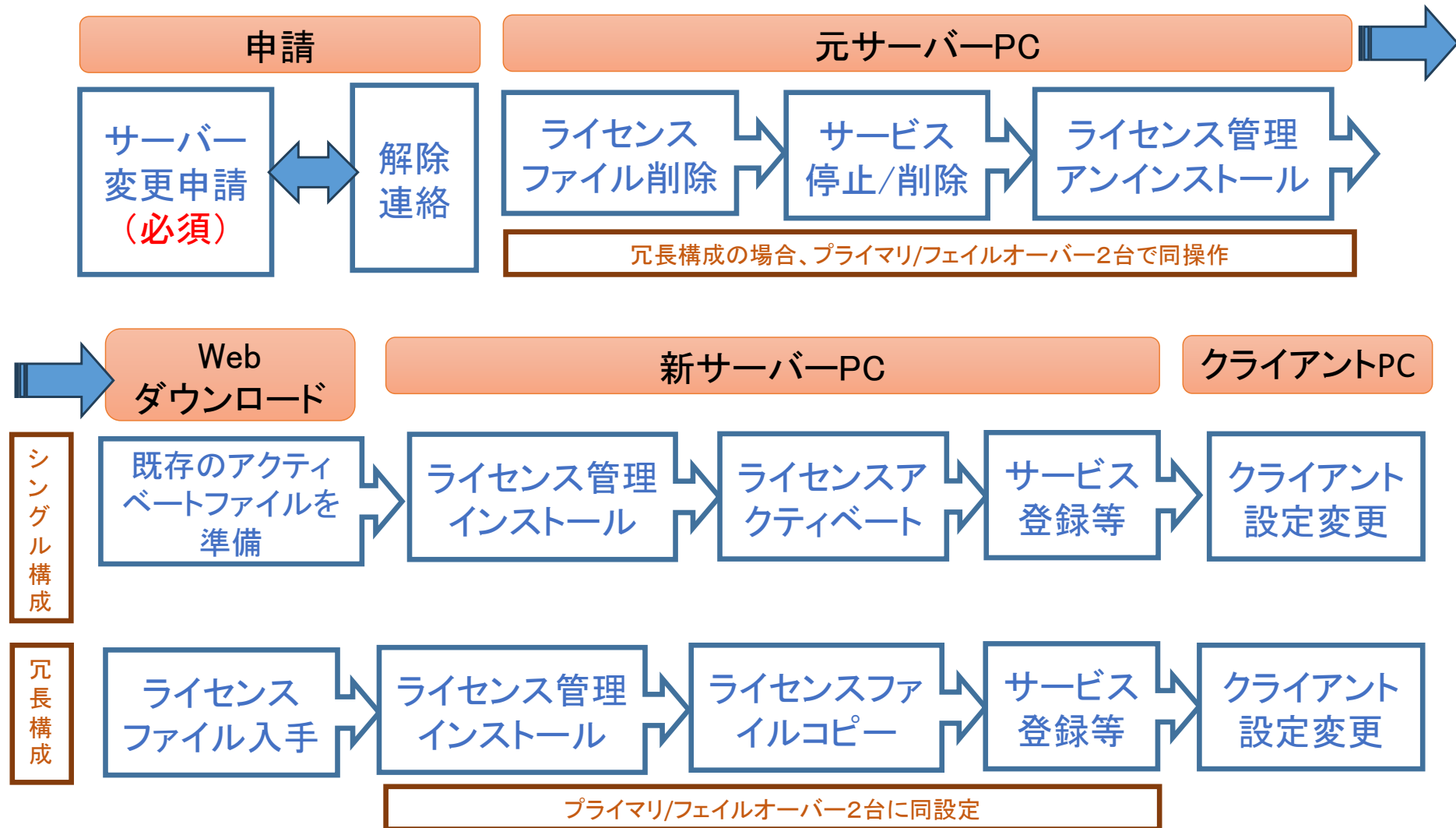
●新規手順

- ◆アルファテックRepriseライセンス管理サービスのインストール
- ◆ライセンスアクティベート(シングル)
- ◆ライセンスファイル設置(冗長)
- ◆Windowsサービス登録/サービスの作成・確認
- ◆ライセンスサーバー管理/サービスの更新
- ◆ファイアウォール設定
- ◆クライアント設定

◆ 新規手順/ライセンス更新の流れ



◆ サーバー変更の流れ



◆ アクティベーションファイル/ライセンスファイル

アクティベーションファイル(*.acnf)とは

サーバーPCでweb接続によるライセンスアクティベーションを実行するためのファイルです。

- アクティベートファイル紛失の際には再ダウンロードが必要です。
- 製品を増設されるなど、ライセンス構成変更となる場合、ご購入後にライセンスファイルの更新が必要となります。
- アクティベート後にインストール先にライセンスファイル(*.lic)が作成されます。

ライセンスファイル(*.lic)とは

サーバーPCに設置して、ライセンス構成認証させるためのファイルです。

- 冗長構成はライセンスファイルのみの提供となります。
- バージョン2024以前のライセンスファイル(Flexnet版)はバージョン2025(Reprise版)以降ではご使用いただけません。

◆ ライセンスファイルの入手 (1. シングル)

納品日以降に作業

御社PC

Web接続

納品メール記載の
URLからダウンロード

アクティベートファイル
入手

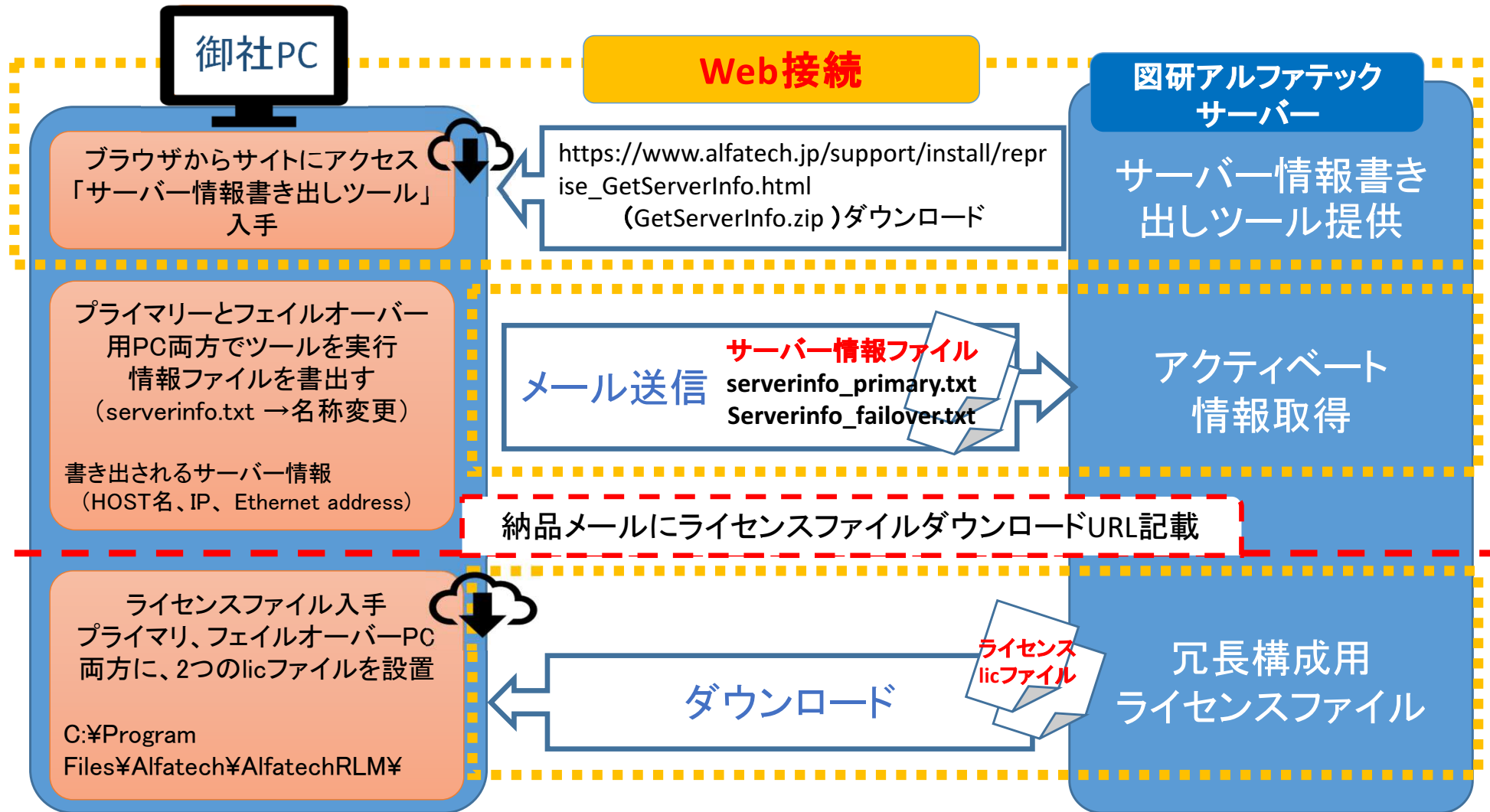
入手ファイルを使用し、
サーバーPCにて
アクティベート作業

図研アルファテック
サーバー

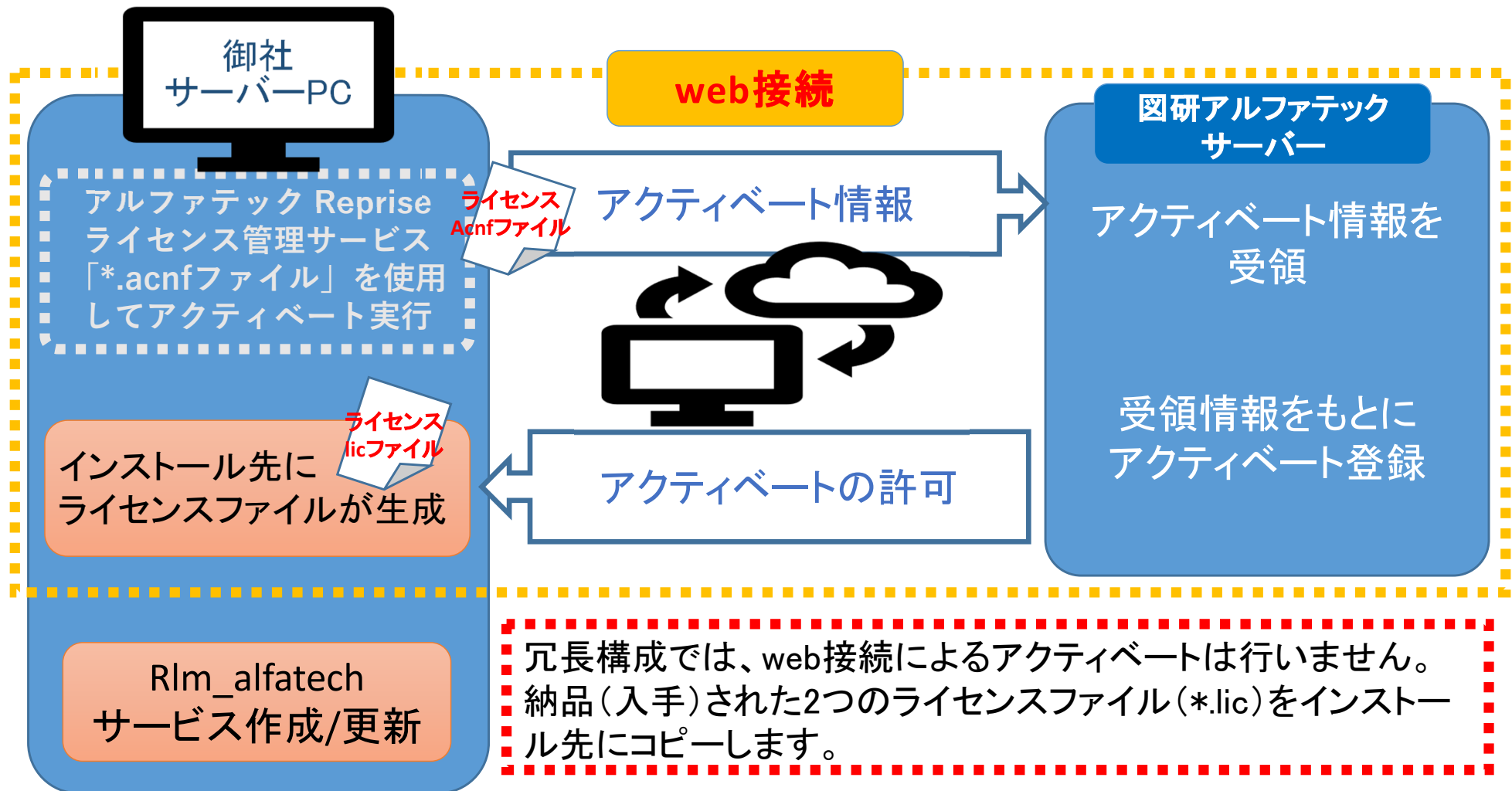
ライセンス
Acnfファイル

ファイルダウンロード

◆ ライセンスファイルの入手(2.冗長)



◆ Webアクティベートの仕組み



新規手順

●はじめに

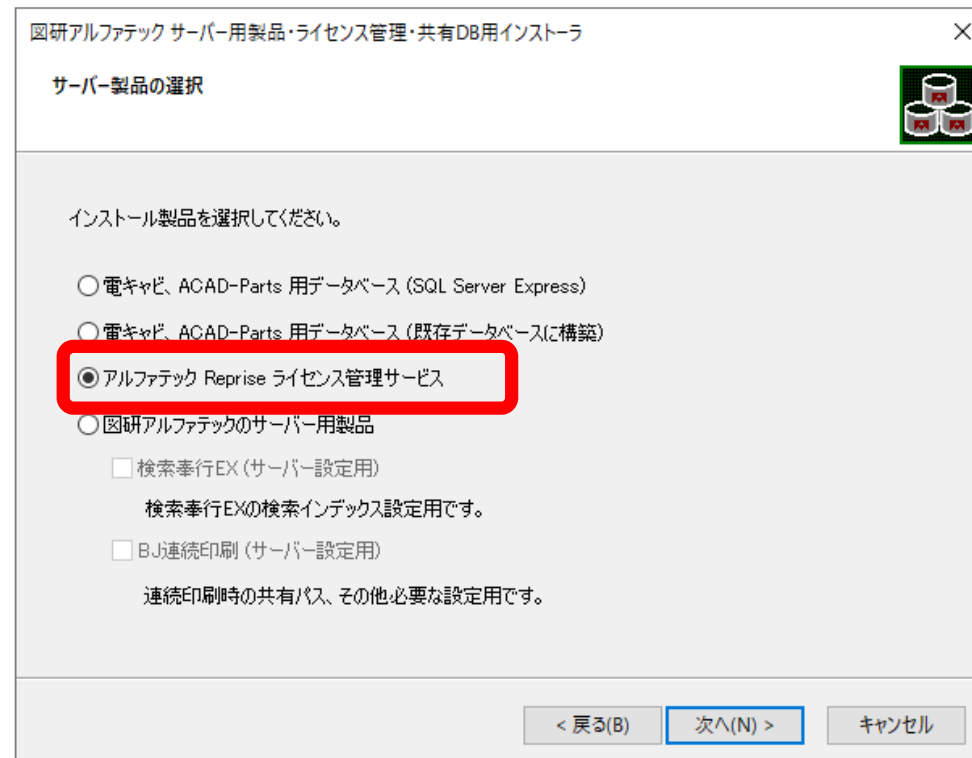
- ◆新規手順/ライセンス更新の流れ
- ◆サーバー変更の流れ
- ◆アクティベーションファイル/ライセンスファイル
- ◆ライセンスファイルの入手(1.シングル/2.冗長)
- ◆Webアクティベートの仕組み

●新規手順

- ◆アルファテックRepriseライセンス管理サービスのインストール
- ◆ライセンスアクティベート(シングル)
- ◆ライセンスファイル設置(冗長)
- ◆Windowsサービス登録/サービスの作成・確認
- ◆ライセンスサーバー管理/サービスの更新
- ◆ファイアウォール設定
- ◆クライアント設定

◆ アルファテックReprise管理サービスのインストール

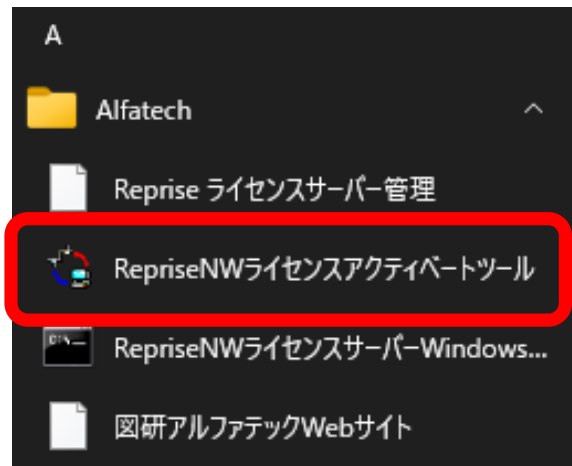
- ダウンロードした、MEDIA_S_1041.isoをマウントし、Setup.exeを実行します。
- インストーラを進め、「アルファテック Reprise ライセンス管理サービス」をインストールします。



【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

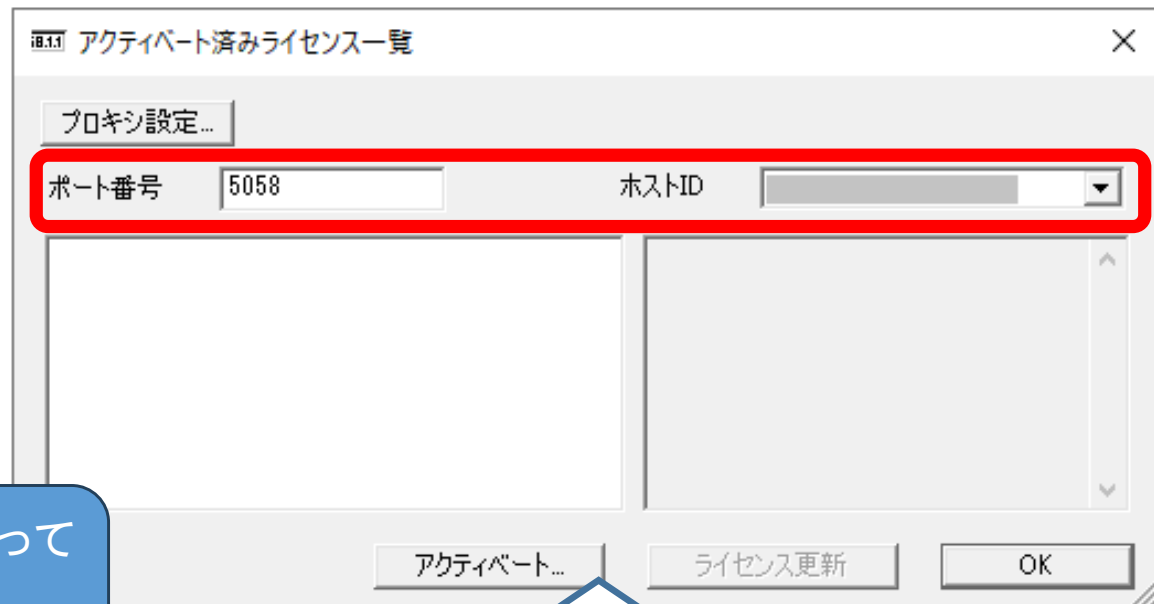
◆ ライセンスアクティベート(シングル)

- スタートメニューから[RepriseNWライセンスアクティベートツール]を起動します。
- ポート番号: 5058(デフォルト)、ホストID: PCのMACアドレスが表示されます。



必要に応じて、下記の設定を行ってください。

- ・プロキシ設定
- ・ポート番号変更(デフォルト5058)
- ・ホストID(複数ある場合、選択)



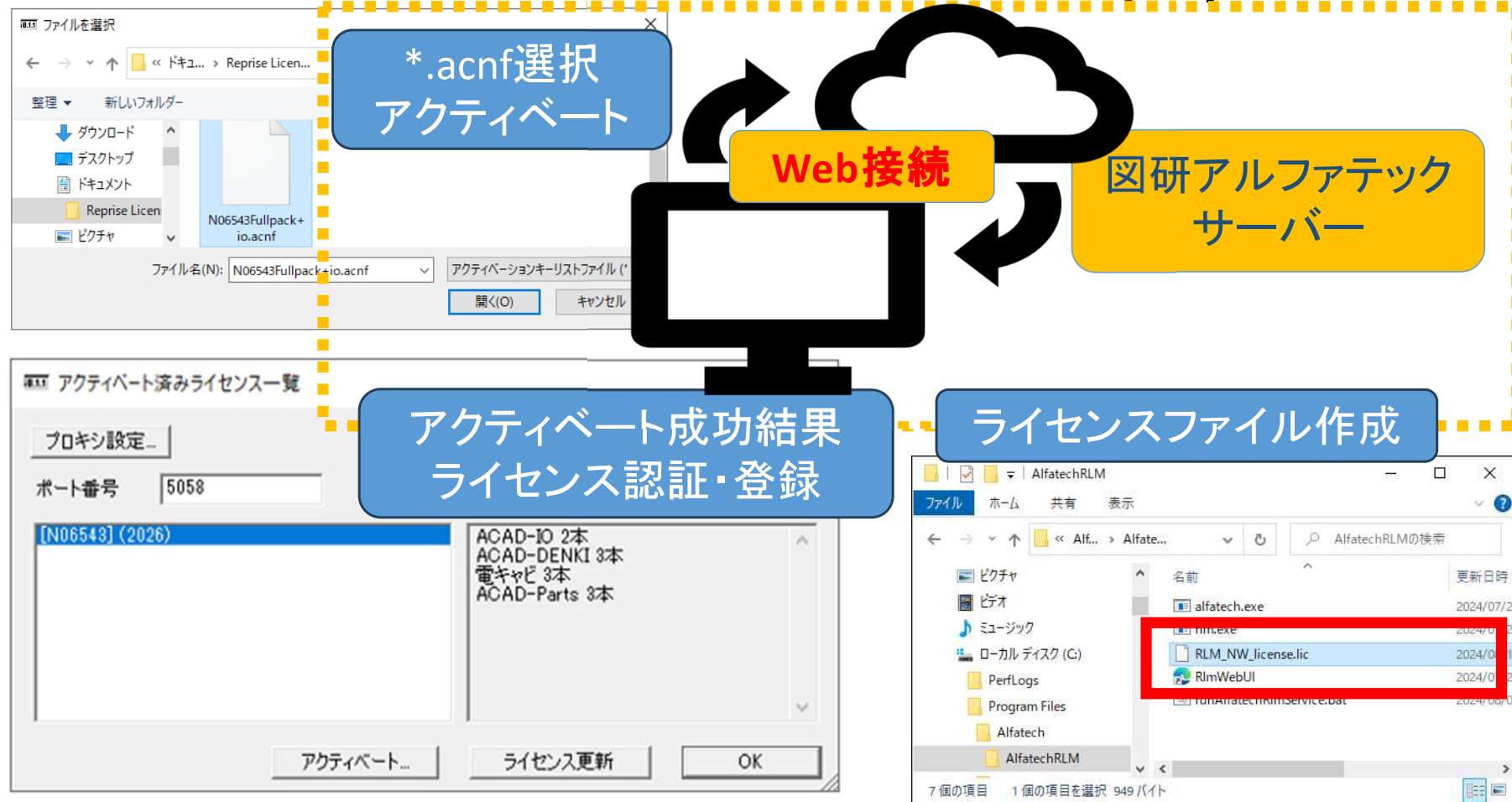
アクティベートの実行(*.acnfを使用)

【冗長構成の場合】

プライマリ/フェイルオーバー用PCともに、本作業は**不要**です。

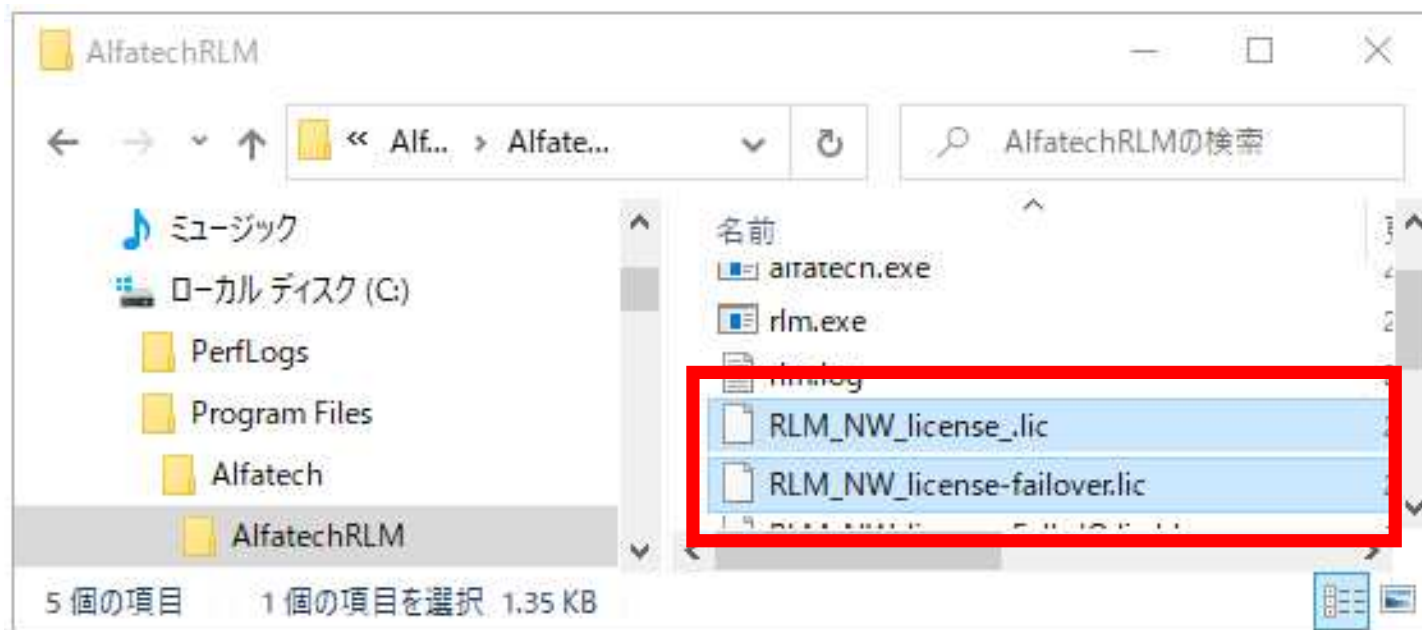
◆ ライセンスアクティベート(シングル)

□ ファイル選択で、入手済みのライセンスファイルを選択し、[開く]をクリックします。



◆ ライセンスファイル設置(冗長)

- 冗長構成の場合、ライセンスアクティベートの実行は行いません。
プライマリ、フェイルオーバー用PCともに2つのファイルをコピーします。



【冗長構成の場合】

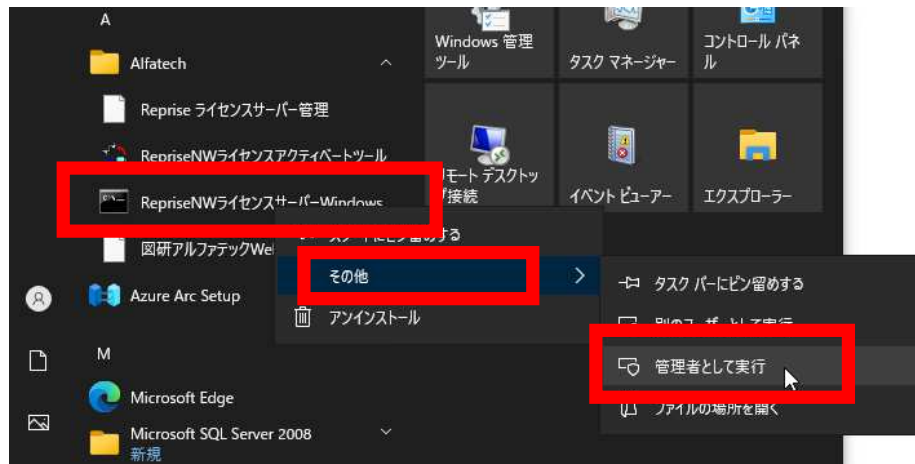
ライセンスファイル名は変更される場合があります。

入手した2つのlicファイルを両方ともプライマリ、フェイルオーバー用のPCのインストール先にそのままコピーしてください。

※ライセンスファイル以外の拡張子.licファイル(バックアップ含め)を置かないようにご注意ください。

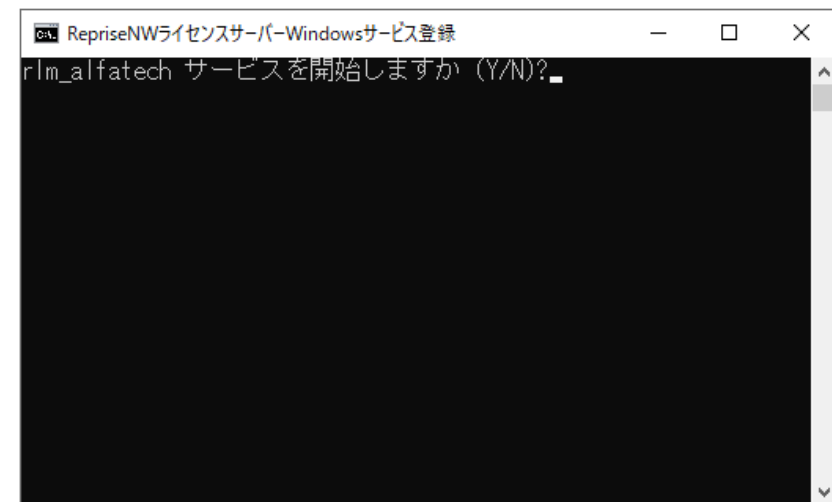
◆ Windowsサービス登録/作成・確認

- スタートメニュー「A」-「Alfatech」から「RipriseライセンスサーバーWindowsサービス登録」を右クリックし、「その他」-「管理者として実行」で実行します。
(Windows server2022のメニュー例)



【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

インストール先にある以下のbatが実行されます。
C:¥Program
files¥Alfatech¥AlfatechRLM¥ runAlfatechRlmService.bat



◆ Windowsサービス登録/作成・確認

- 「RipriseライセンスサーバーWindowsサービス登録」にて、「rlm_alfatech サービスを開始しますか(Y/N)? 」と表示されます。Yを入力しEnterを押します。

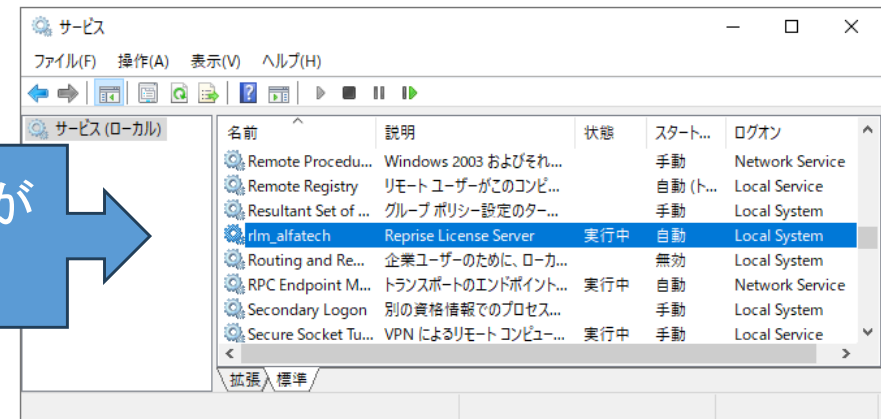
```

RepriseNWライセンスサーバーWindowsサービス登録
rlm_alfatech サービスを開始しますか (Y/N)?y
rlm_alfatech サービスが登録されていないので登録します。
rlm_alfatech サービスを登録しました。
rlm_alfatech サービスを開始します。
rlm_alfatech サービスは正常に開始されました。

続行するには何かキーを押してください . . .
  
```

【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

作成サービス名「rlm_alfatech」が
作成されます。



名前	説明	状態	スタート...	ログオン
Remote Procedure Call (RPC)	Windows 2003 およびそれ以降のオペレーティングシステムで、リモートユーザがこのコンピュータ上のサービスを呼び出すために使用される。	実行中	自動	Local System
Remote Registry	リモート ユーザーがこのコンピュータ上のレジストリにアクセスするために使用される。	実行中	自動	Local System
Resultant Set of Security Policies	グループ ポリシー設定のターゲットコンピュータに適用されるポリシーの結果を示す。	実行中	自動	Local System
rlm_alfatech	Reprise License Server	実行中	自動	Local System
Routing and Remote Access	企業ユーザーのために、ローカルネットワークとリモートネットワークを接続するためのサービス。	実行中	自動	Local System
RPC Endpoint Mapper	トランスポートのエンドポイントの登録と検索を提供する。	実行中	自動	Local System
Secondary Logon	別の資格情報でのプロセスの起動を許可する。	実行中	自動	Local System
Secure Socket Tunneling Protocol Service	VPN によるリモート コンピュータとの接続を安全にする。	実行中	自動	Local System

Windowsステータスバーの検索窓に「service」と入力し、アプリの「サービス」を選択するとサービスダイアログが表示します。

◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新

- Reprise ライセンスサーバー管理を実行し、webブラウザでサービスを更新します。



<http://localhost:5059/> 接続初期表示

【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも
同様の操作を行います。



[Reread/Restart Servers]
の実行

Reread/Restart Servers
クリック

◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新

□ [RETEAD/RESTART]を実行します。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2014, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

Reread/Restart Servers
If ISV is specified as "all" or blank, all ISV servers will reread licenses

ISV: [all-] ▼

REREAD/RESTART

クリック

Status for "rlm" on (port 5058)

RLM software version	v11.1 (build.2)
RLM comm version	v1.2
debug log file	rlm.log
license files	RLM_NW_license.lic

rlm Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start time	08/21 10:48:00	08/21 10:48:00	08/21 13:51:02
Messages	8 (0/sec)	8 (0/sec)	6 (0/sec)
Connections	4 (0/sec)	4 (0/sec)	3 (0/sec)

EDIT rlm Options
SHOW rlm Debug Log

ISV Servers										
Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	OPTIONS	TRANSFER	SHUTDOWN
alfatech	64600	Yes	0	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech

Statusの更新が完了します。

**冗長構成の場合
ライセンスファイルは
2種表示されます。**

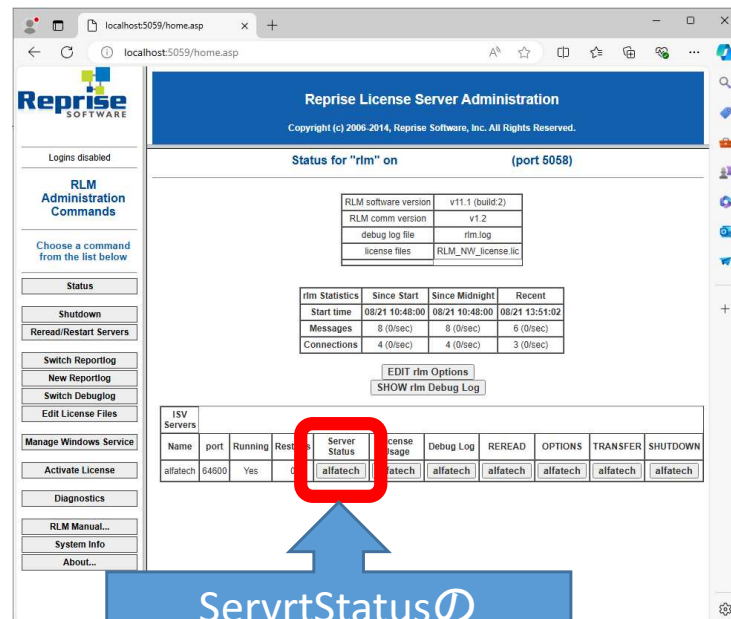
RLM software version	v11.1 (build.2)
RLM comm version	v1.2
debug log file	rlm.log
license files	RLM_NW_license-failover.lic RLM_NW_license_lic

【冗長構成の場合】

フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。
フェイルオーバー用PCではライセンス情報は表示されません。

◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新

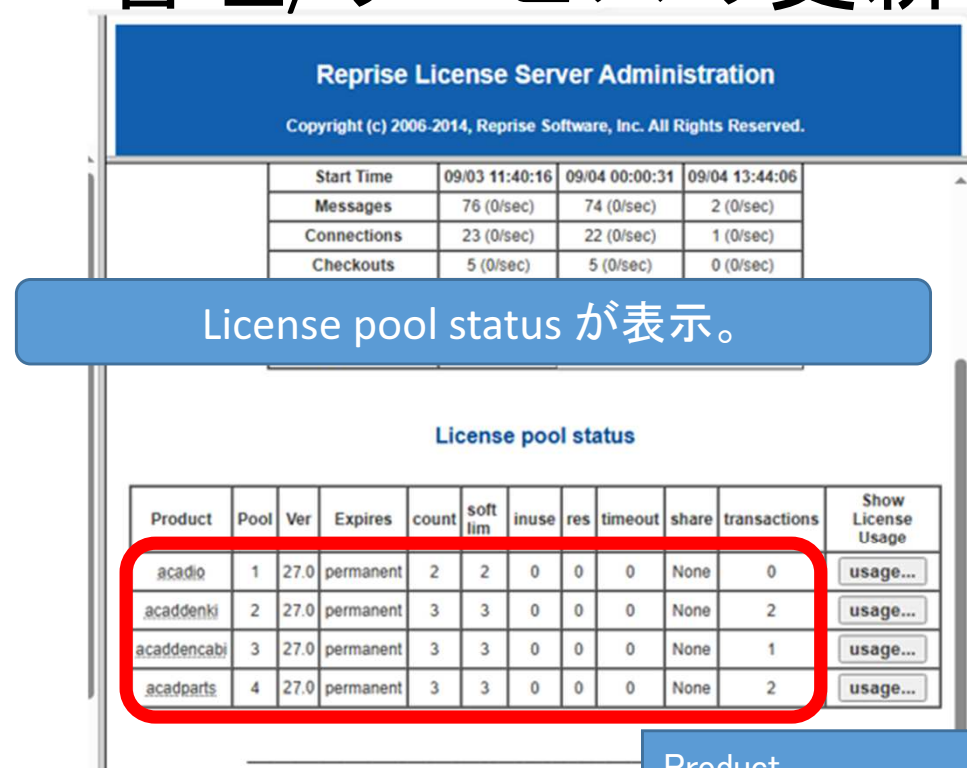
□ ライセンスを確認します。



ServrtStatusの
[alfatech]をクリック

【冗長構成の場合】

フェイルオーバーPCではServer Status のLicense pool status 内容は確認できません。
プライマリPCが稼働していない場合、ライセンス提供を始めるため、確認できるようになります。



License pool status が表示。

Product	Pool	Ver	Expires	count	soft lim	inuse	res	timeout	share	transactions	Show License Usage
acadio	1	27.0	permanent	2	2	0	0	0	None	0	usage...
acaddenki	2	27.0	permanent	3	3	1	0	0	None	2	usage...
acaddencabi	3	27.0	permanent	3	3	0	0	0	None	1	usage...
acadparts	4	27.0	permanent	3	3	1	0	0	None	2	usage...

Product
ライセンスコード
Ver
バージョン 27.0=2026
Count
ライセンス数
Inuse
クライアント使用数

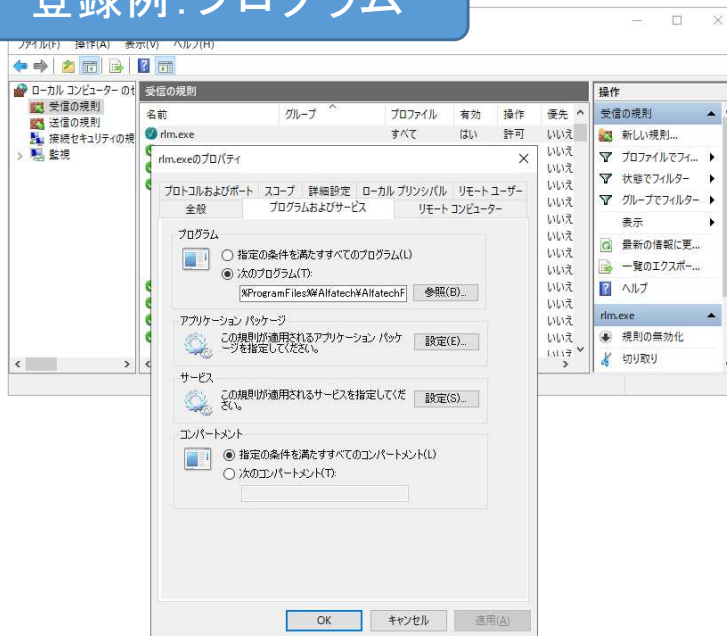
◆ ファイアウォール設定

【冗長構成の場合】

フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

- スタートメニューで[Windowsシステムセキュリティ]を選択し [ファイアウォールとネットワーク保護] から「詳細設定」を開きます。
- Windowsファイアウォール設定の「受信の規則」に2つ追加します。
 ポート: アクティベート時のポート番号
 プログラム: %ProgramFiles%\¥Alfatech¥AlfatechRLM¥rlm.exe

登録例: プログラム



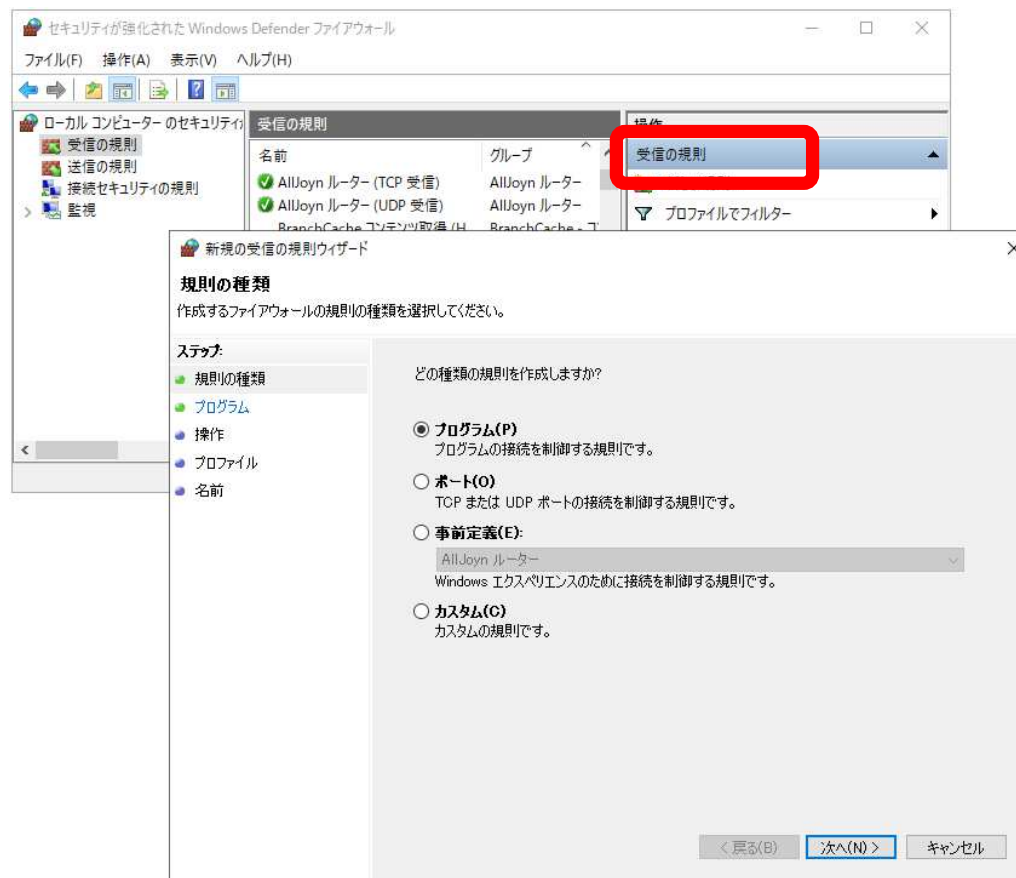
登録例: ポート



◆ ファイアウォール設定

【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

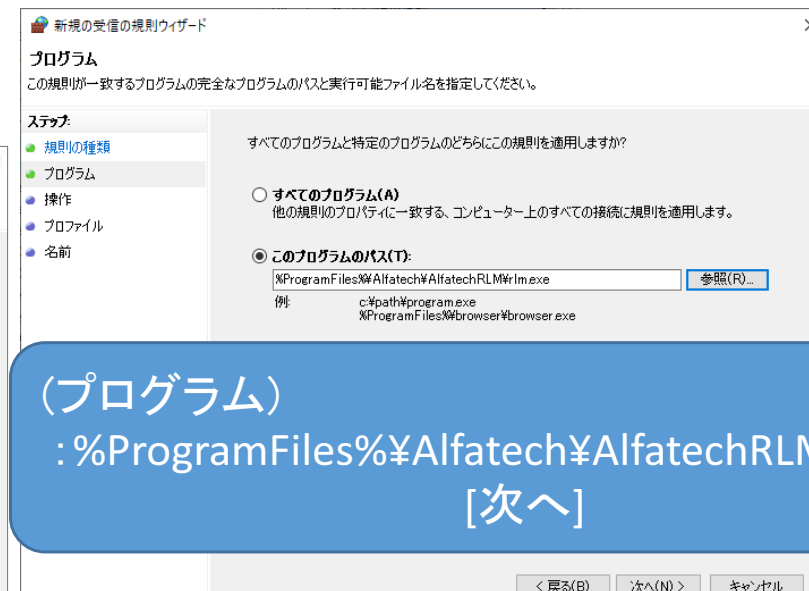
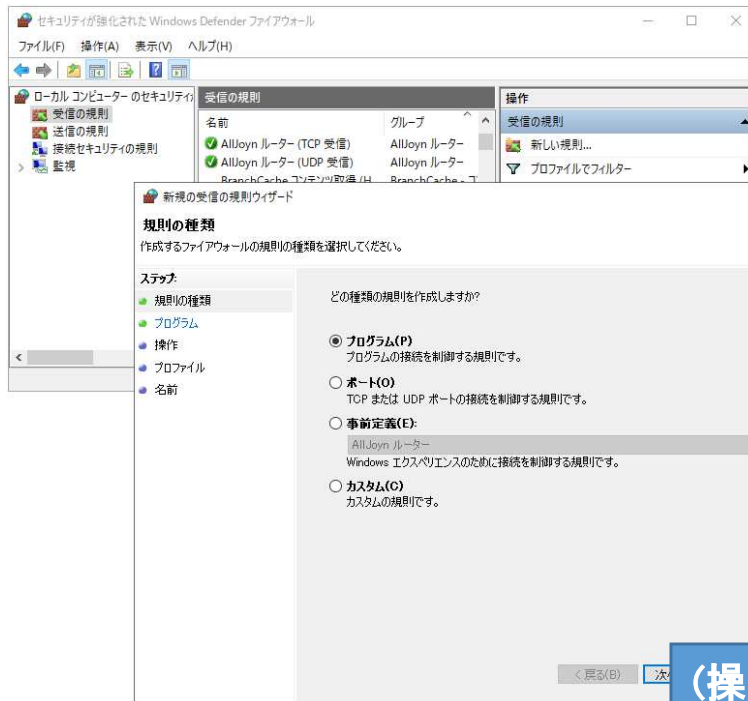
- 右ペインの[操作]から「新しい規則...」をクリックし「新規の受信の規則ウィザード」を表示します。



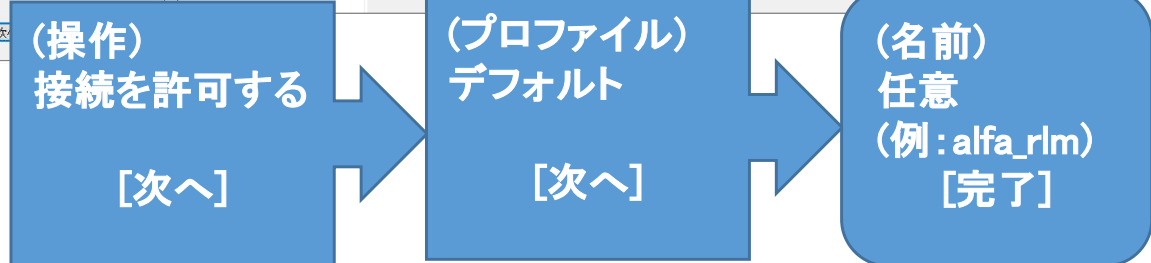
◆ ファイアウォール設定

【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

□ 「新規の受信の規則ウィザード」で「プログラム」を選択し、登録します。



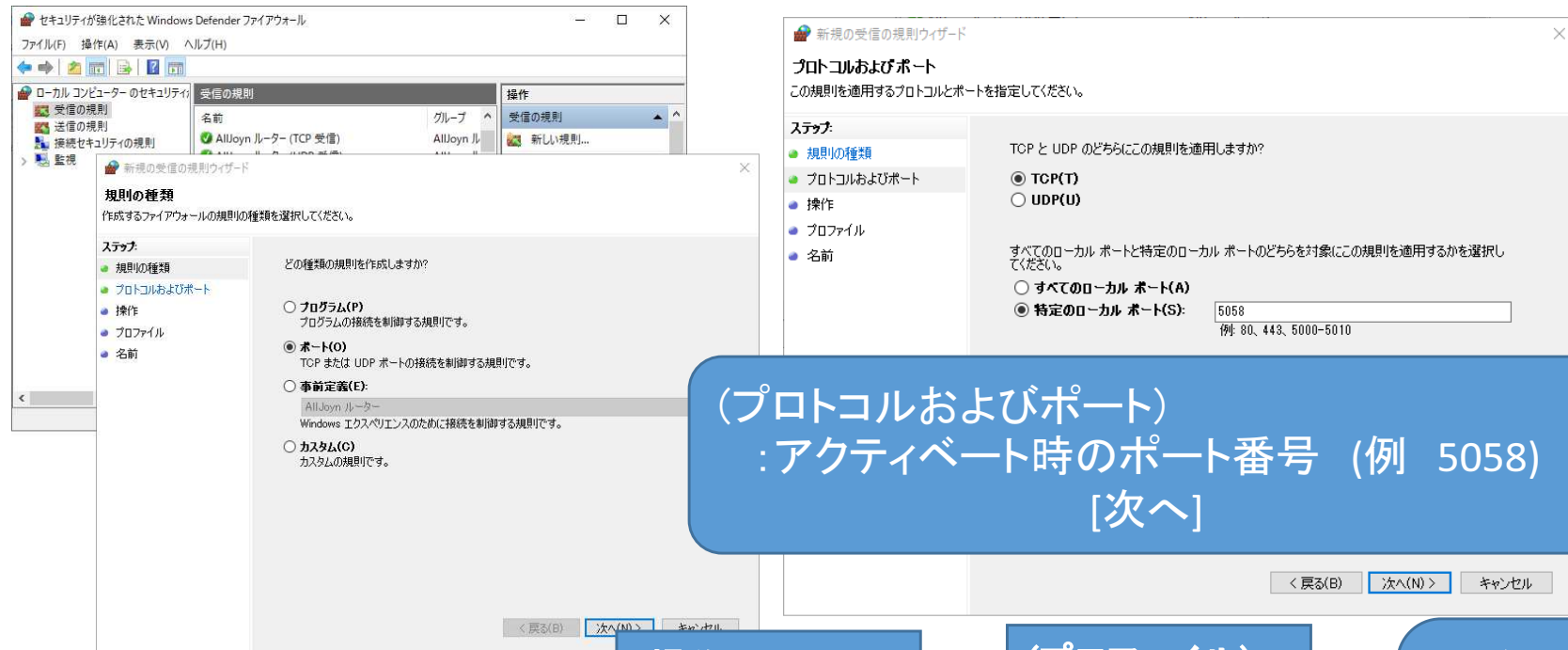
(プログラム)
: %ProgramFiles%\¥Alfatech¥AlfatechRLM¥rlm.exe
[次へ]



◆ ファイアウォール設定

【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

□ 「新規の受信の規則ウィザード」で「ポート」を選択し、登録します。



(プロトコルおよびポート)
: アクティベート時のポート番号 (例 5058)
[次へ]

(操作)
接続を許可する

[次へ]

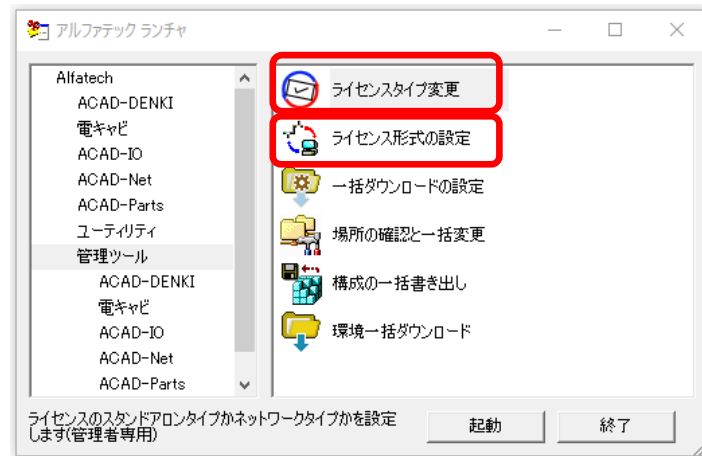
(プロファイル)
デフォルト

[次へ]

(名前)
任意
(例: alfa_rlm)
[完了]

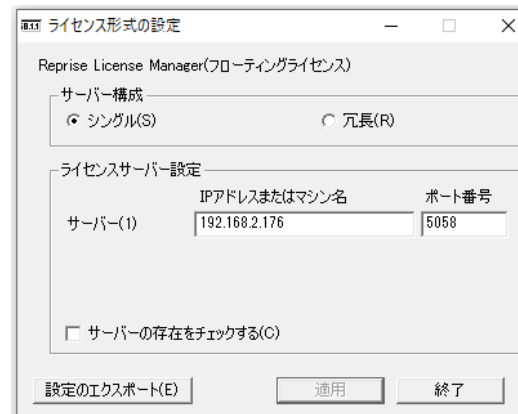
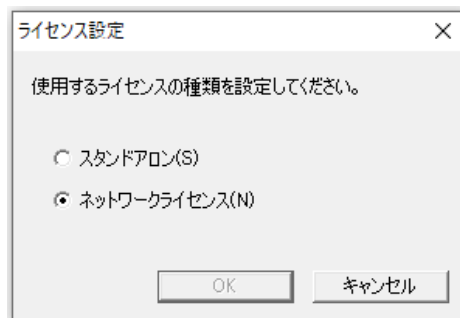
◆ クライアント設定

□ アルファテックランチャで、クライアント設定、ライセンスモニタの確認を行います。



ライセンス形式の設定
サーバーには「IPアドレス、またはPC名を
設定します。
イメージはIPアドレスの例です。

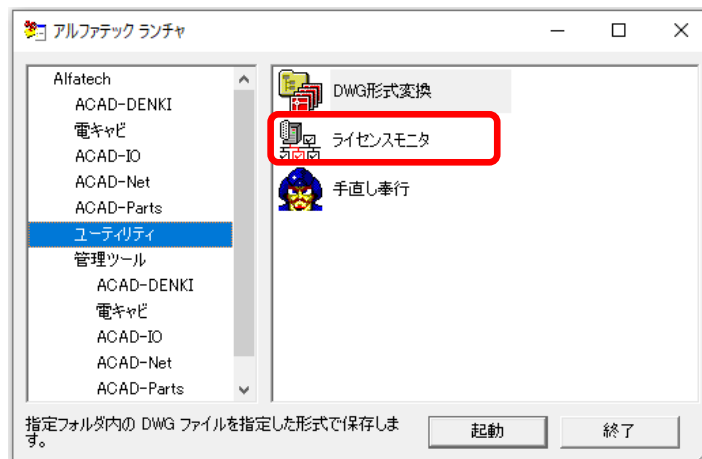
ライセンスタイプ変更



【冗長構成の場合】
「冗長」を選択し、プライマリとフェイルオーバーの設定を行います。

◆ クライアント設定

□ ライセンスモニタの確認を行います。



ライセンスモニタ



【冗長構成の場合】

ライセンスモニタダイアログ下側の「ライセンスサーバ」にはプライマリとフェイルオーバーの情報が表記されます。

バージョンアップ、製品変更

●バージョンアップ、製品変更

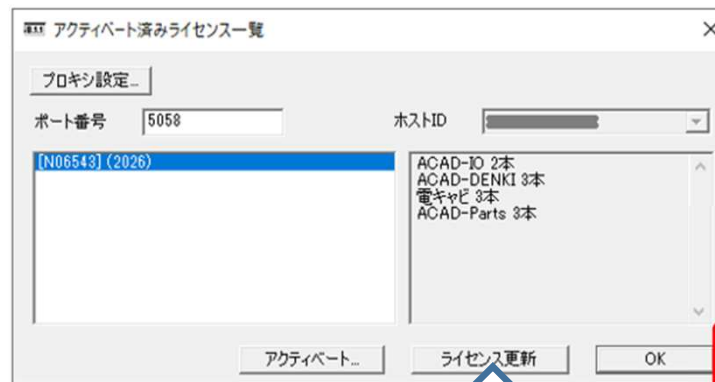
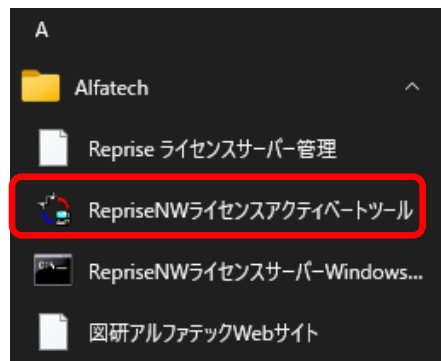
- ◆ライセンス更新/バージョンアップ(シングル)
- ◆アクティベート/製品変更(シングル)
- ◆ライセンス更新(冗長)
- ◆サービスの再起動

●サーバー変更

- ◆ライセンスファイル削除(元PC)
- ◆サービスの停止・削除
- ◆ライセンス管理サービスアンインストール
- ◆新サーバーの構築
- ◆クライアントPCライセンス形式の設定変更

◆ ライセンス更新/バージョンアップ(シングル)

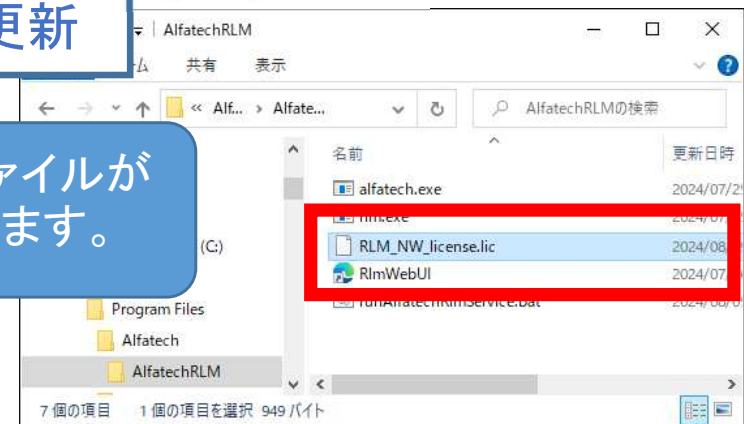
- RepriseNWライセンスアクティベートツールを実行します。
- [ライセンス更新]を実行します。



【冗長構成の場合】
ライセンスの更新は行いません。

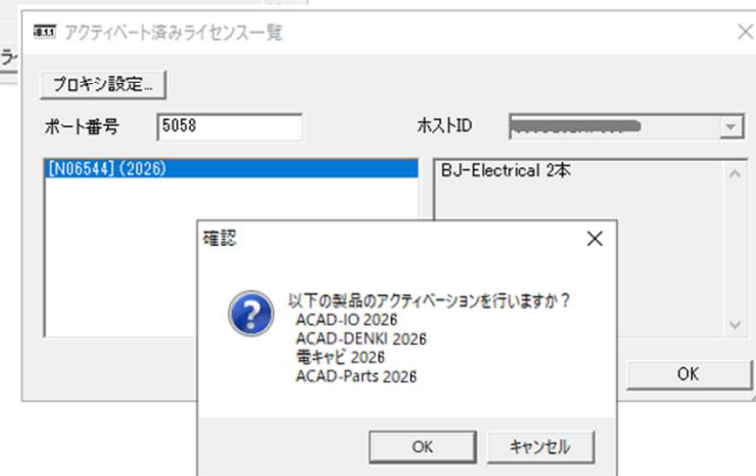
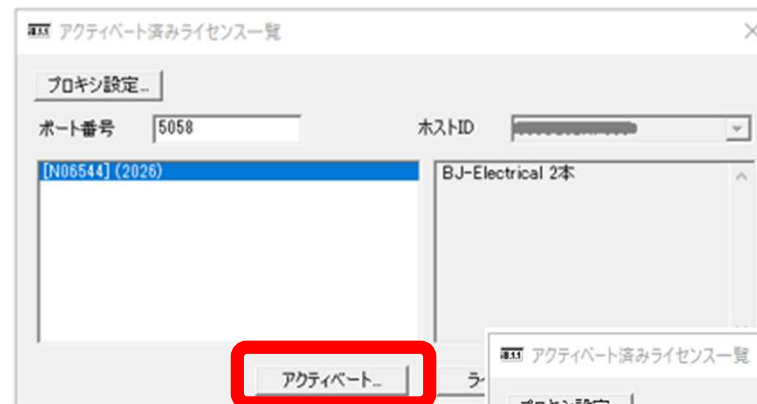
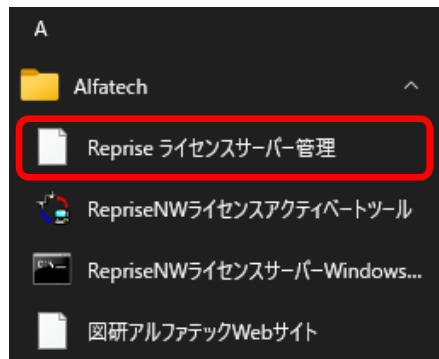
ライセンス更新

ライセンスファイルが
再作成されます。



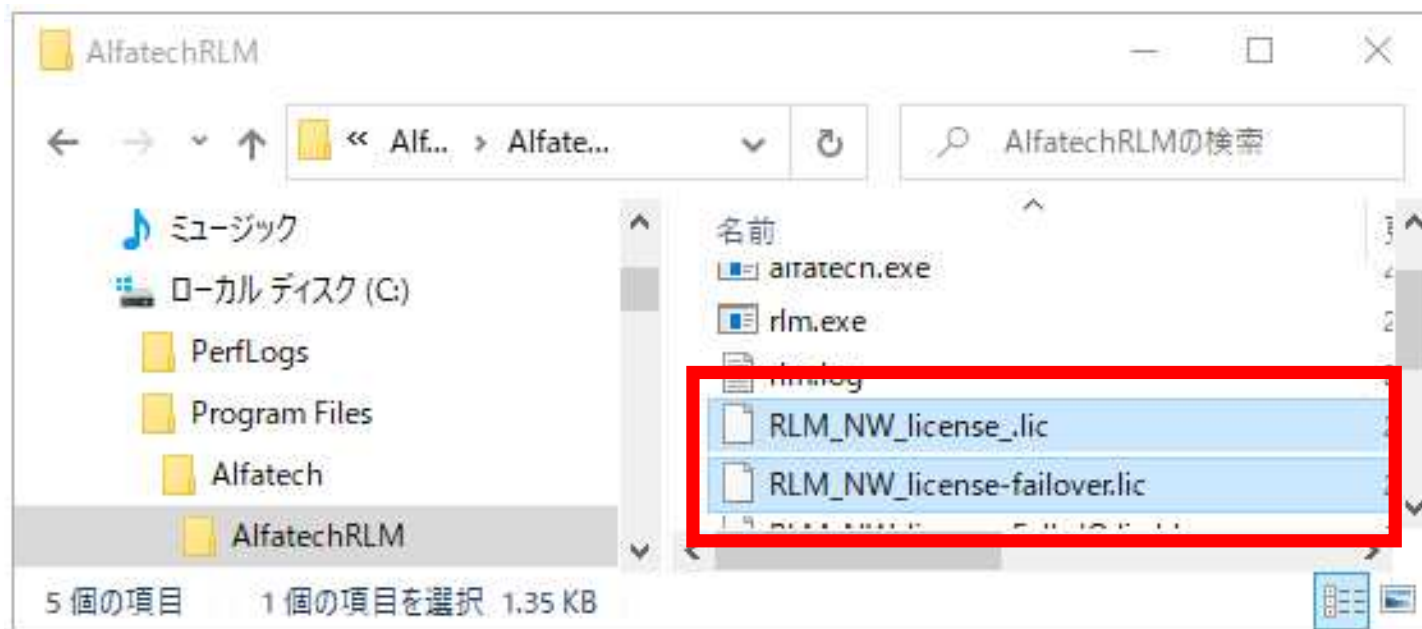
◆ アクティベート/製品変更(シングル)

- [RepriseNWライセンスアクティベートツール]を実行します。
- [アクティベート]をクリックし、製品変更後のライセンスファイルを選択します。
- メッセージの[OK]をクリックします。ライセンス製品の変更が完了します。



◆ ライセンス更新(冗長)

- 入手した2つのライセンスファイルをインストール先に上書きします。



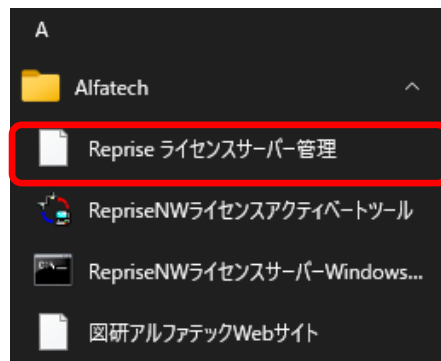
【冗長構成の場合】

ライセンスファイル名は変更される場合があります。

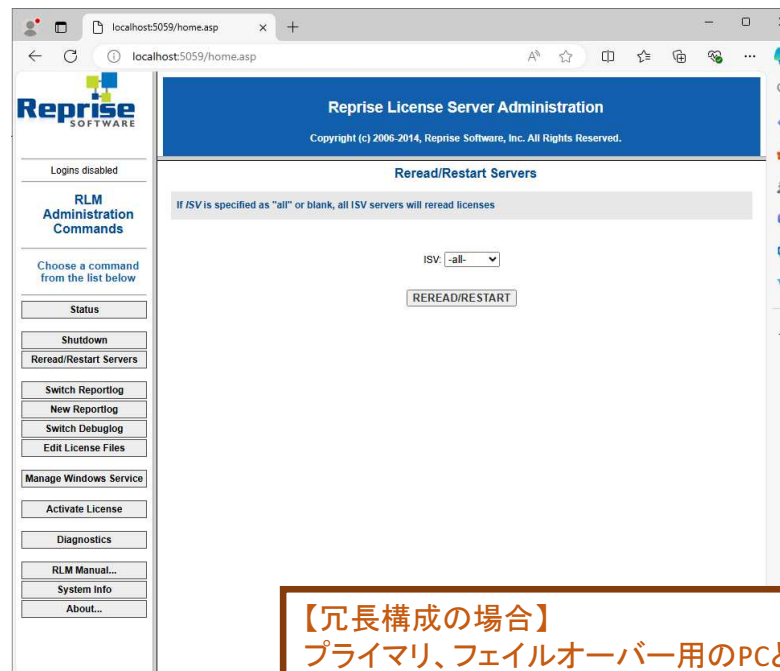
入手した2つのlicファイルを両方ともプライマリ、フェイルオーバー用のPCのインストール先にそのままコピーしてください。元ファイルと名称が異なる場合、元ファイルは必ず削除してください。有効なライセンスのファイル以外のlicファイル(バックアップを含め)はおかないでください。

◆ サービスの再起動

- ライセンスの更新・再アクティベート・ライセンスファイル更新の何れかを実行後は、Repriseライセンスサーバー管理を実行し、RESTARTを行います。



Reprise ライセンスサーバー管理で
RESTARTを実行します。



サーバー変更

●バージョンアップ、製品変更

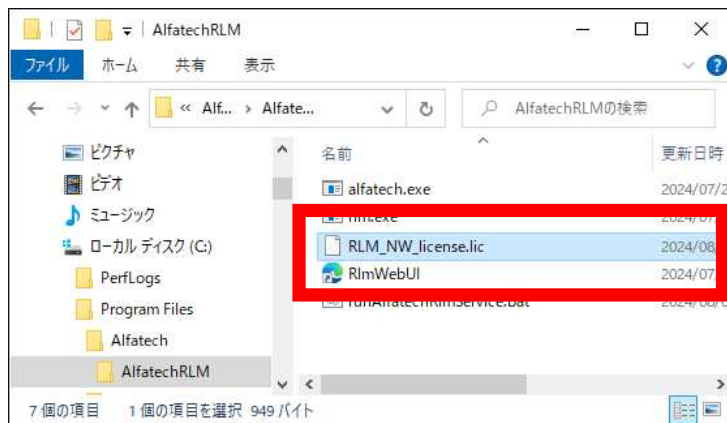
- ◆ライセンス更新/バージョンアップ(シングル)
- ◆アクティベート/製品変更(シングル)
- ◆ライセンス更新(冗長)
- ◆サービスの再起動

●サーバー変更

- ◆ライセンスファイル削除
- ◆サービスの停止・削除
- ◆ライセンス管理サービスアンインストール
- ◆新サーバーの構築
- ◆クライアントPCライセンス形式の設定変更

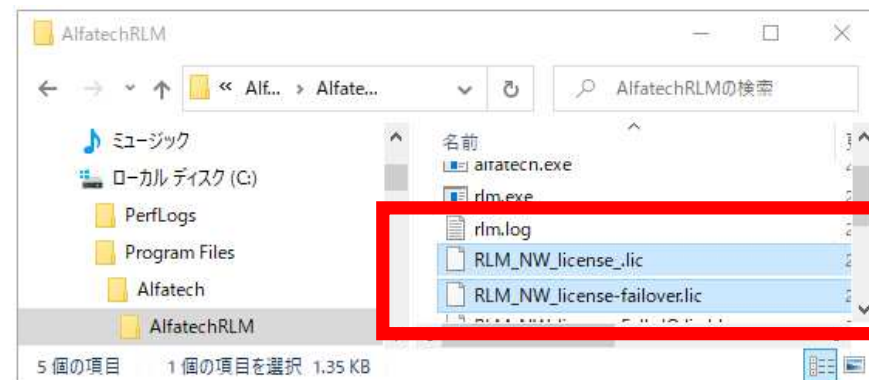
◆ ライセンスファイル削除

- 変更元PCのインストール先にある*.licファイルを全て削除します。



【シングル構成の場合】

ライセンスファイルは1つだけです。



【冗長構成の場合】

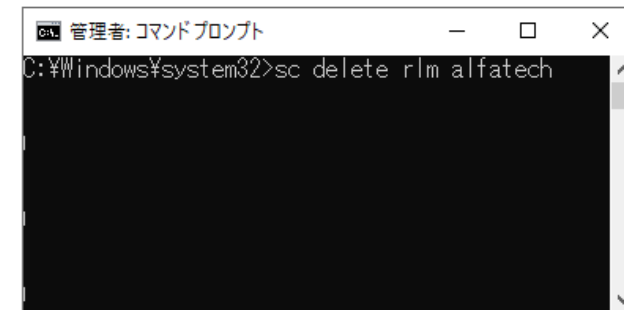
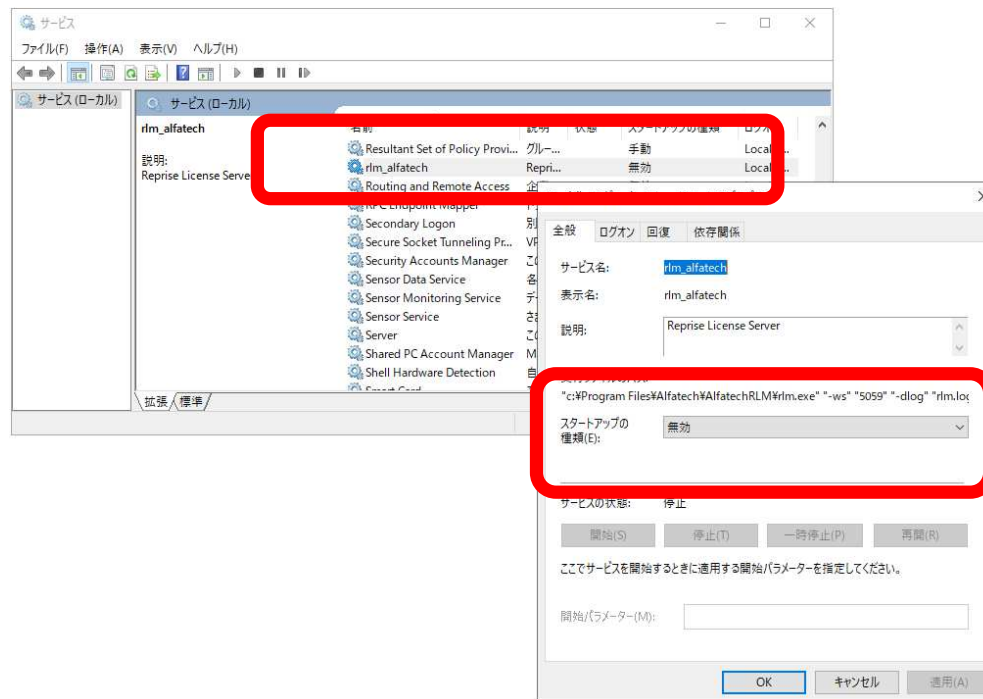
ライセンスファイル名は変更される場合があります。
プライマリ、フェイルオーバー用のPCのライセンスファイルを削除してください。
どちらかのサーバーが変わる場合でも2つのサーバー情報が一致しない為、削除してください。

有効なライセンスのファイル以外のlicファイル(バックアップを含め)はおかないでください。

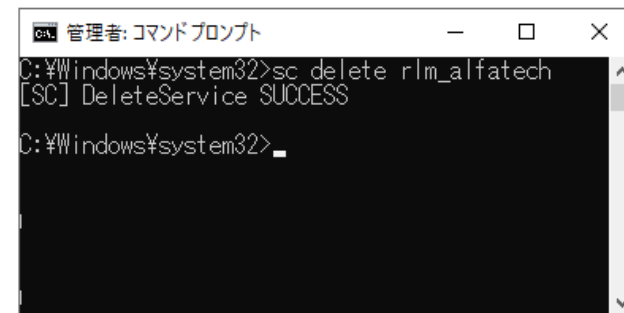
◆ サービスの停止・削除

【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

- Windowsのサービスにて、サービスを停止または無効にします。
- コマンドプロンプトを「管理者として起動」し、サービスを削除します。

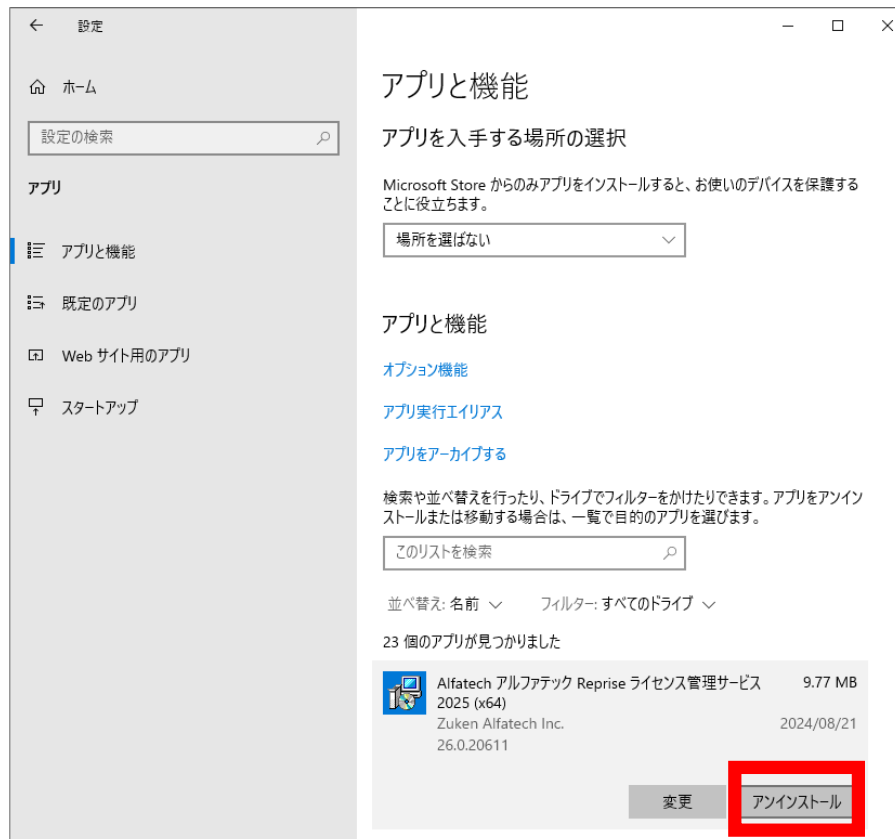


コマンドプロンプトに
Sc delete rm_alfatech
と入力し、enterを押します。



◆ ライセンス管理サービスのアンインストール

□ AlfatechアルファテックRepriseライセンス管理サービスをアンインストールします。

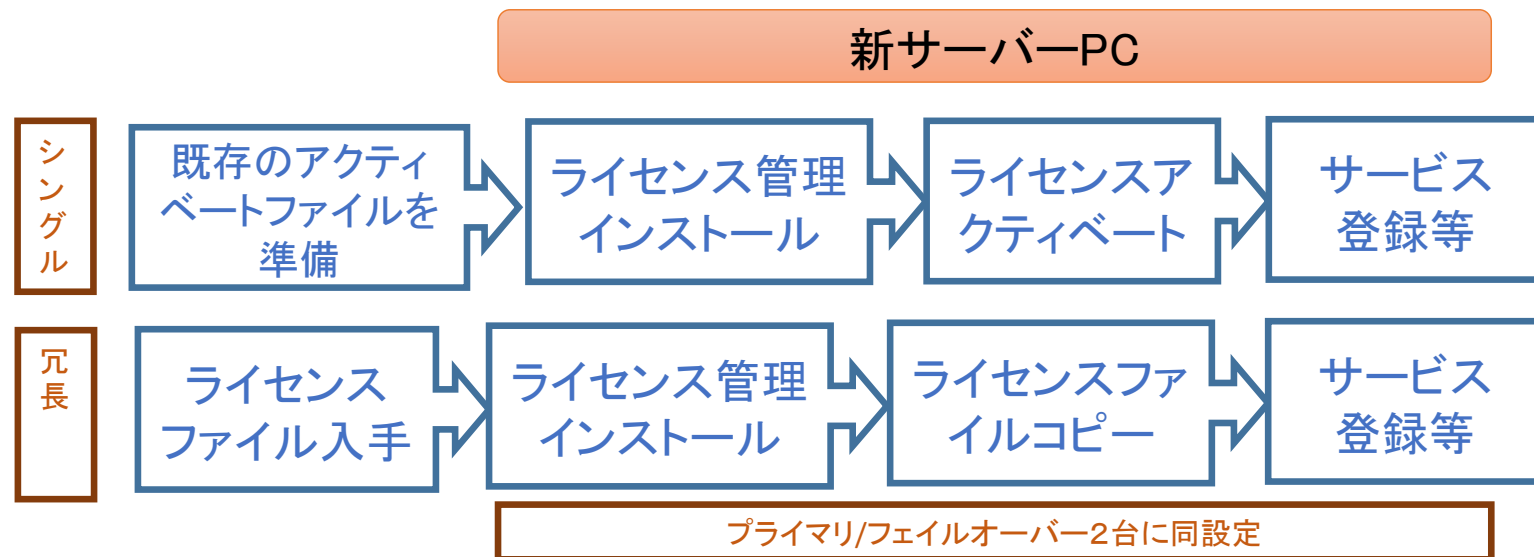


【冗長構成の場合】
フェイルオーバー用PCでも同様の操作を行います。

◆ 新サーバーの構築

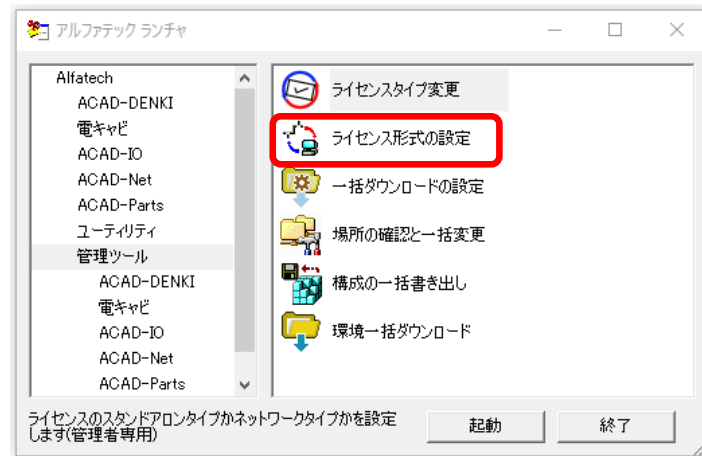
□ 新規手順と同様の構築を行います。

- ◆ アルファテックRepriseライセンス管理サービスのインストール
- ◆ ライセンスアクティベート(シングル)
- ◆ ライセンスファイル設置(冗長)
- ◆ Windowsサービス登録/サービスの作成・確認
- ◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新
- ◆ ファイアウォール設定

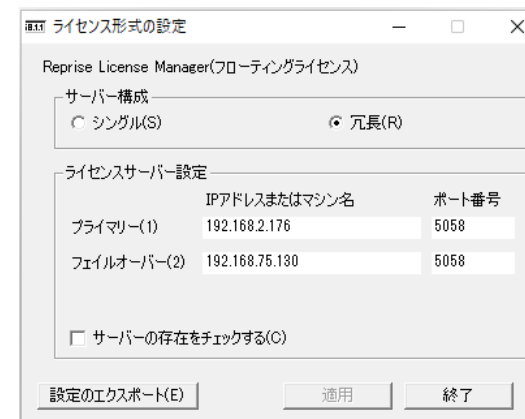
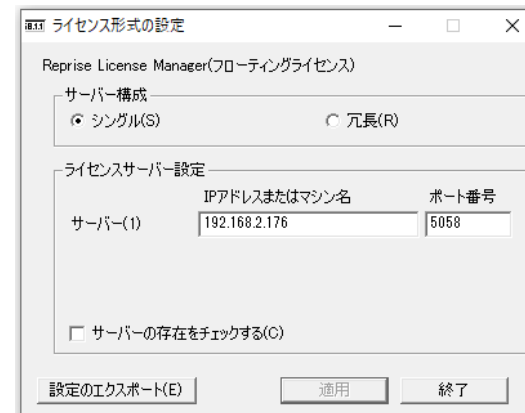


◆ クライアントPC ライセンス形式の設定変更

□ アルファテックランチャで、ライセンス形式の設定を起動します。



ライセンス形式の設定
サーバーに新サーバーの「IPア
ドレス、またはPC名を設定します。



オフラインアクティベート

- オフラインアクティベート

冗長構成では、webによるアクティベートを行わない為本設定は不要です

- ◆ オフラインアクティベート概要
- ◆ オフラインアクティベートの仕組みと流れ①～④
- ◆ オフラインアクティベート①準備、②送付
- ◆ オフラインアクティベート④受領とインポート

- オフラインアクティベート/「新規手順」での構築

- ◆ Windowsサービス登録/サービスの作成・確認
- ◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新
- ◆ ファイアウォール設定
- ◆ クライアント設定

- アクティベート解除

- ◆ アクティベート解除

◆ オフラインアクティベート概要

- 会社のセキュリティ制限により、プロキシ設定が出来ない
 - ネットワークに接続していないPCでアクティベートを行いたい
- このような場合、ツールを使用してオフラインによるアクティベートが可能です。

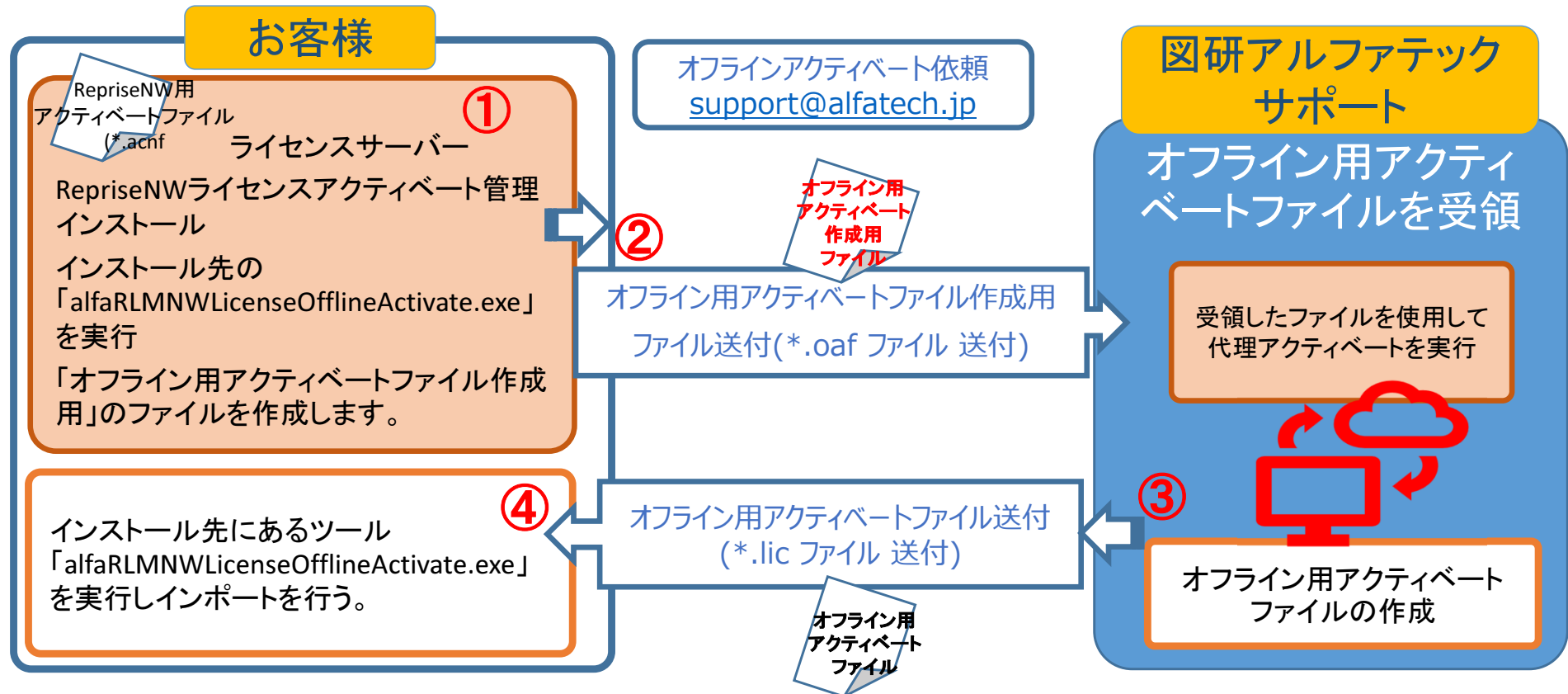
オフラインアクティベート用専用ツール
「 alfaRLMNWLicenseOfflineActivate.exe 」

ツールの場所

- インストールプログラム内にて提供
 - “C:¥” インストールドライブの場合
 - C:¥Program Files ¥Common Files¥Alfatech以下

◆ オフラインアクティベートの仕組みと流れ

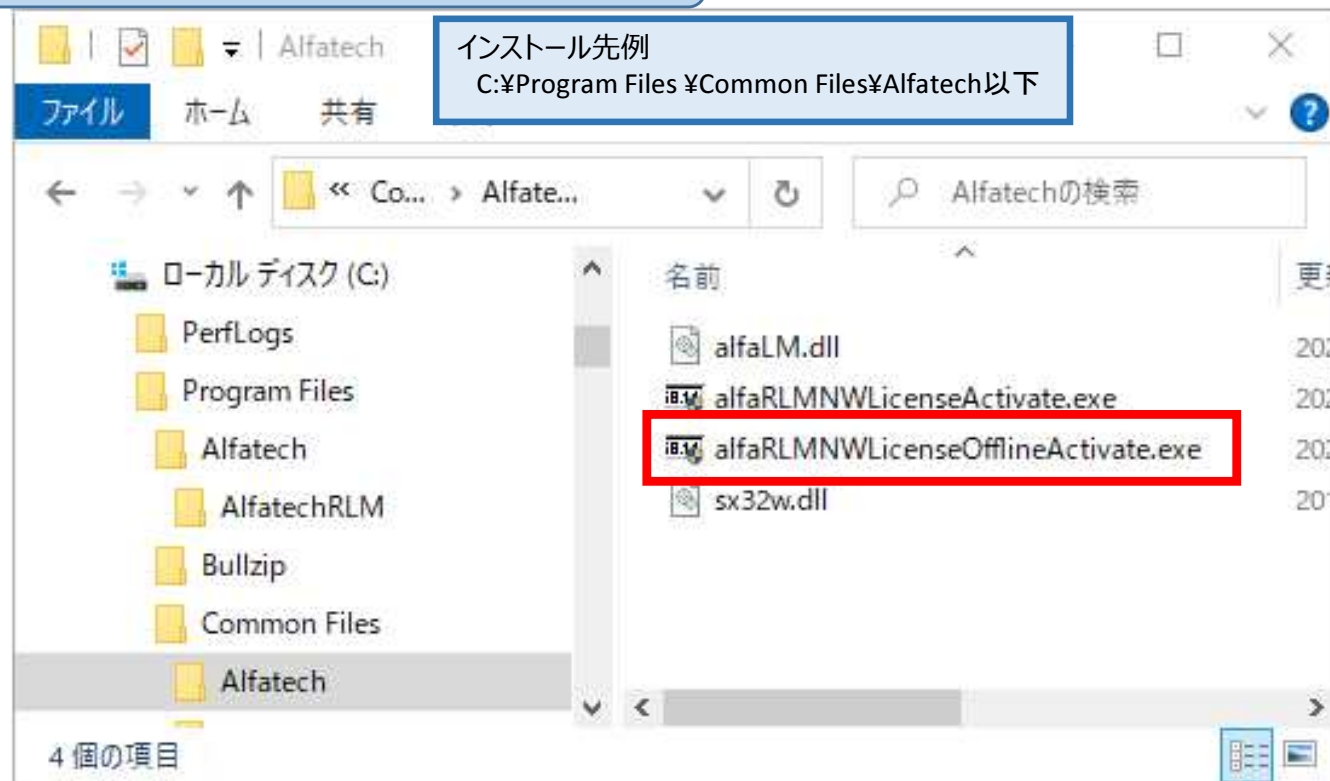
- 会社のセキュリティ制限により、プロキシ設定が出来ない
 - ネットワークに接続していないPCでアクティベートを行いたい
- このような場合、オフラインによるアクティベートが可能です。



◆ オフラインアクティベート①準備

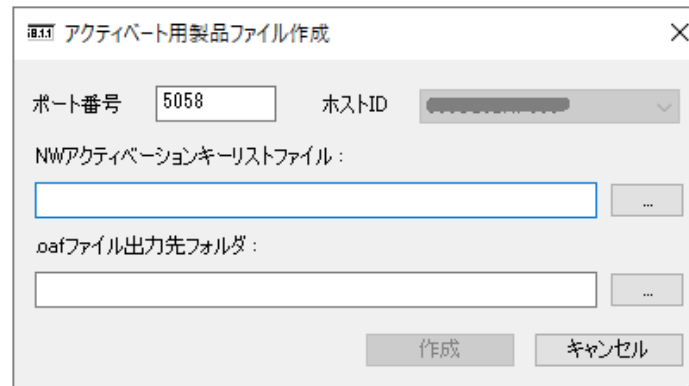
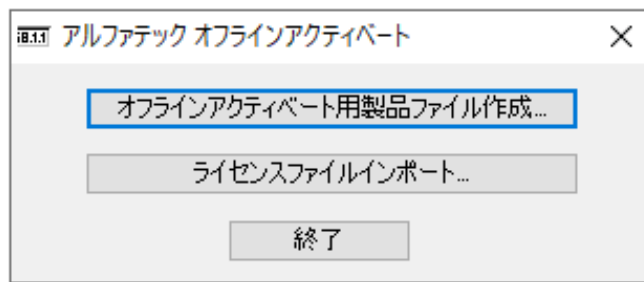
- RepriseNW用アクティベート製品ファイル(*.acnf)を準備してください。
- alfaRLMNWLicenseOfflineActivate.exeを実行します。

ツールの実行には、管理者権限が必要です。



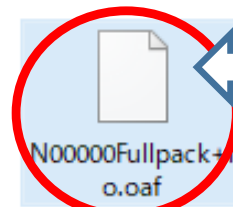
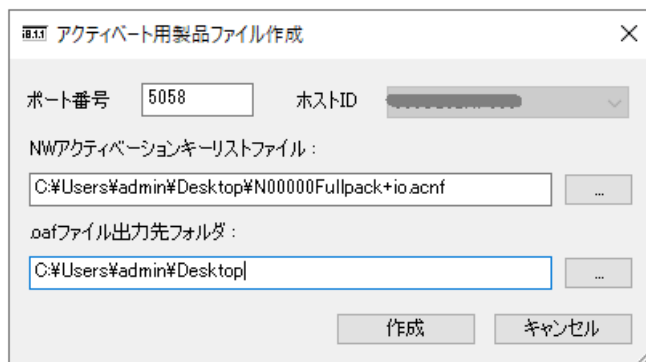
◆ オフラインアクティベート①準備、②送付

- [アクティベート用PCファイル作成]をクリックします



オンライン用
アクティベート製品
ファイル(.acnf)を
選択

- *.acnfファイルと出力先を指示し、[作成]をクリックします

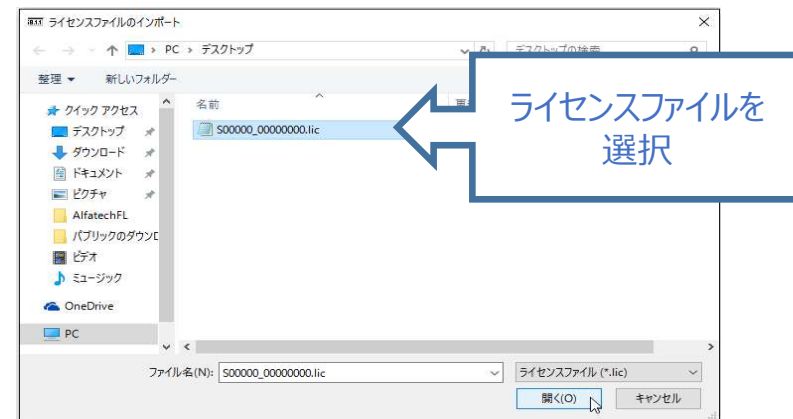
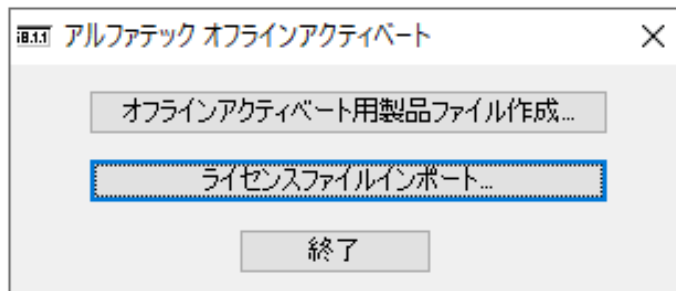


オフライン用アクティベートファイル(.oaf)が
作成されます

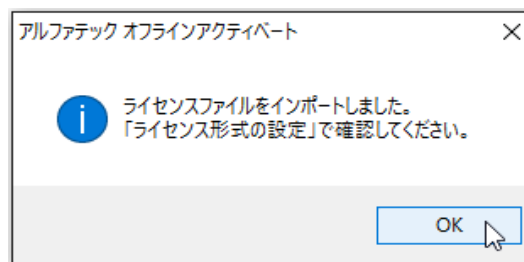
- サポートに*.oafファイルを送付します

◆ オフラインアクティベート④受領とインポート

- サポートからライセンスファイル(*.lic)を受領してください
- alfaRLMNWLicenseOfflineActivate.exeを実行します。
- [ライセンスファイルインポート]をクリックし、受領したライセンスファイルを選択します。



- 表示されたメッセージを確認し、[OK]をクリックします

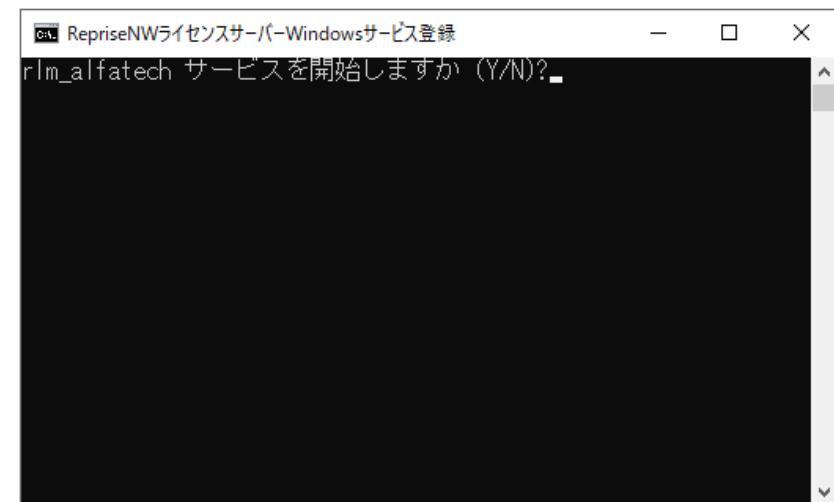
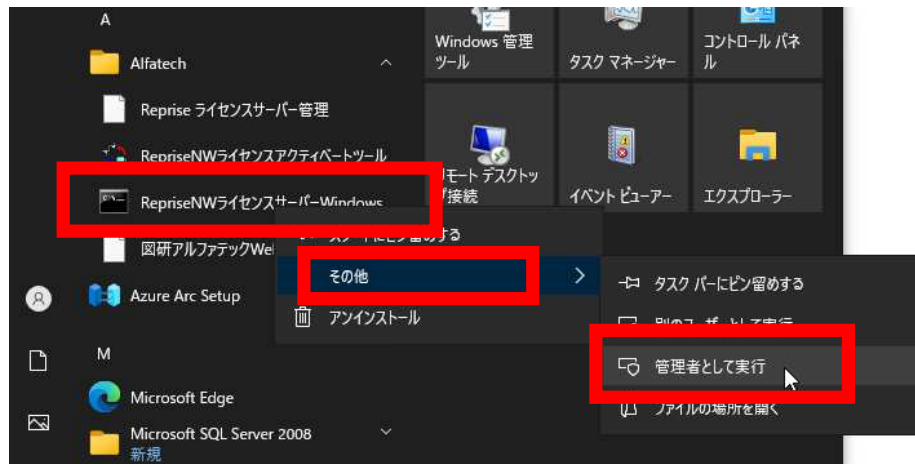


「新規手順」での構築

- オフラインアクティベート
 - ◆ オフラインアクティベート概要
 - ◆ オフラインアクティベートの仕組みと流れ①～④
 - ◆ オフラインアクティベート①準備、②送付
 - ◆ オフラインアクティベート④受領とインポート
- オフラインアクティベート/「新規手順」での構築
 - ◆ Windowsサービス登録/サービスの作成・確認
 - ◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新
 - ◆ ファイアウォール設定
 - ◆ クライアント設定
- アクティベート解除
 - ◆ アクティベート解除

◆ Windowsサービス登録/作成・確認

- スタートメニュー「A」-「Alfatech」から「RipriseライセンスサーバーWindowsサービス登録」を右クリックし、「その他」-「管理者として実行」で実行します。
(Windows server2022のメニュー例)



インストール先にある以下のbatが実行されます。
C:¥Program
files¥Alfatech¥AlfatechRLM¥ runAlfatechRlmService.bat

◆ Windowsサービス登録/作成・確認

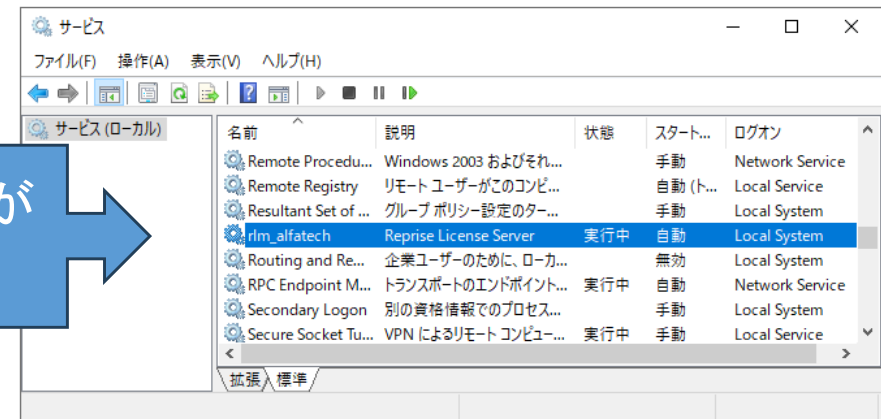
- 「RipriseライセンスサーバーWindowsサービス登録」にて、「rlm_alfatech サービスを開始しますか(Y/N)? 」と表示されます。Yを入力しEnterを押します。

```

RepriseNWライセンスサーバーWindowsサービス登録
rlm_alfatech サービスを開始しますか (Y/N)?y
rlm_alfatech サービスが登録されていないので登録します。
rlm_alfatech サービスを登録しました。
rlm_alfatech サービスを開始します。
rlm_alfatech サービスは正常に開始されました。

続行するには何かキーを押してください . . .
  
```

作成サービス名「rlm_alfatech」が作成されます。



名前	説明	状態	スタート...	ログオン
Remote Procedure Call (RPC)	Windows 2003 およびそれ以降のオペレーティングシステムで、リモートユーザがこのコンピュータ上のサービスと通信するために使用されます。	実行中	自動	Local Service
Remote Registry	リモート ユーザーがこのコンピュータ上のレジストリにアクセスするために使用されます。	停止	手動	Local System
Resultant Set of Security Policies	グループ ポリシー設定のターゲットに適用されるセキュリティポリシーの結果を示します。	停止	手動	Local System
rlm_alfatech	Reprise License Server	実行中	自動	Local System
Routing and Remote Access	企業ユーザーのために、ローカルネットワークとリモートネットワークを接続するためのサービス。	停止	手動	Local System
RPC Endpoint Mapper	トランスポートのエンドポイントの登録と検索を提供します。	実行中	自動	Network Service
Secondary Logon	別の資格情報でのプロセスの起動を許可します。	停止	手動	Local System
Secure Socket Tunneling Protocol Service	VPN によるリモート コンピュータとの接続を安全にします。	実行中	手動	Local Service

Windowsステータスバーの検索窓に「service」と入力し、アプリの「サービス」を選択するとサービスダイアログが表示します。

◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新

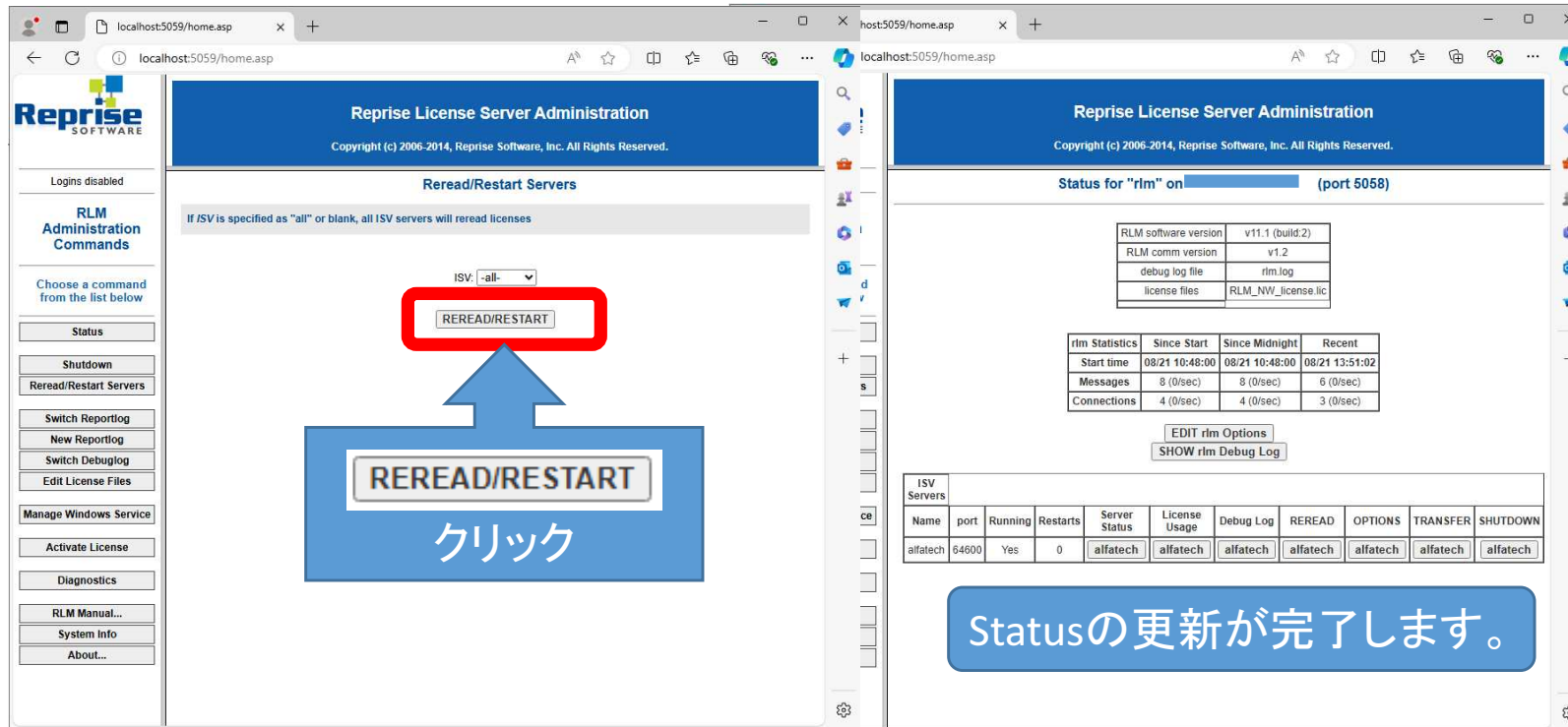
- Reprise ライセンスサーバー管理を実行し、webブラウザでサービスを更新します。



The image shows a Windows file explorer on the left and a web browser on the right. In the file explorer, the folder 'Alfatech' is open, and the file 'Reprise ライセンスサーバー管理' is highlighted with a red box. A blue callout bubble points to this file with the text 'ブラウザの起動'. The web browser shows the 'Reprise License Server Administration' page at 'http://localhost:5059/'. A blue callout bubble at the top of the browser window contains the URL 'http://localhost:5059/ 接続初期表示'. On the left sidebar of the web interface, the 'Reread/Restart Servers' button is highlighted with a red box. A blue callout bubble points to this button with the text 'Reread/Restart Servers クリック'. Another blue callout bubble on the right side of the browser window contains the text '[Reread/Restart Servers] の実行'.

◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新

□ [REREAD/RESTART]を実行します。



The screenshot shows the Reprise License Server Administration web interface. On the left, a sidebar contains navigation links such as 'Logins disabled', 'RLM Administration Commands', 'Status', 'Shutdown', 'Reread/Restart Servers', 'Switch Reportlog', 'New Reportlog', 'Switch Debuglog', 'Edit License Files', 'Manage Windows Service', 'Activate License', 'Diagnostics', 'RLM Manual...', 'System Info', and 'About...'. The main content area is titled 'Reprise License Server Administration' and 'Reread/Restart Servers'. It includes a dropdown menu for 'ISV' set to '-all-' and a button labeled 'REREAD/RESTART' which is highlighted with a red rectangle. A large blue arrow points from a box labeled 'REREAD/RESTART' with the Japanese text 'クリック' (Click) to the button. To the right, another screenshot shows the 'Status for "rlm" on (port 5058)' page, displaying various statistics and a table of ISV servers. A blue box at the bottom of this screenshot contains the text 'Statusの更新が完了します。' (Status update is complete).

RLM Statistics		Since Start	Since Midnight	Recent
Start time	08/21 10:48:00	08/21 10:48:00	08/21 13:51:02	
Messages	8 (0/sec)	8 (0/sec)	6 (0/sec)	
Connections	4 (0/sec)	4 (0/sec)	3 (0/sec)	

ISV Servers										
Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	OPTIONS	TRANSFER	SHUTDOWN
alfatech	64600	Yes	0	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech	alfatech

◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新

□ ライセンスの確認。

ServrtStatusの
[alfatech]をクリック

License pool status が表示。

Product	Pool	Ver	Expires	count	soft lim	inuse	res	timeout	share	transactions	Show License Usage
acadio	1	27.0	permanent	2	2	0	0	0	None	0	usage...
acaddenki	2	27.0	permanent	3	3	0	0	0	None	2	usage...
acaddencabi	3	27.0	permanent	3	3	0	0	0	None	1	usage...
acadparts	4	27.0	permanent	3	3	0	0	0	None	2	usage...

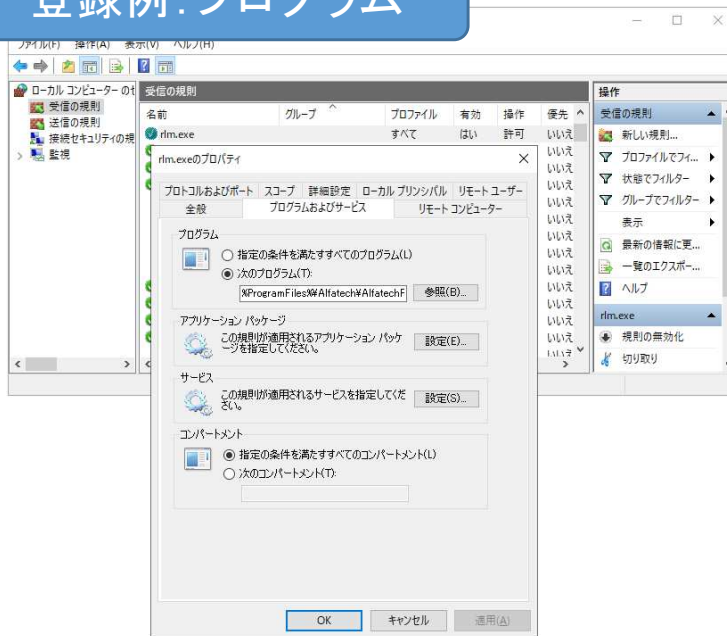
Product	Pool	Ver	Expires	count	soft lim	inuse	res	roa
acadio	1	27.0	permanent	2	2	0	0	
acaddenki	2	27.0	permanent	3	3	1	0	
acaddencabi	3	27.0	permanent	3	3	0	0	
acadparts	4	27.0	permanent	3	3	1	0	

Product
ライセンスコード
Ver
バージョン 27.0=2026
Count
ライセンス数
Inuse
クライアント使用数

◆ ファイアウォール設定

- スタートメニューで[Windowsシステムセキュリティ]を選択し [ファイアウォールとネットワーク保護] から「詳細設定」を開きます。
- Windowsファイアウォール設定の「受信の規則」に2つ追加します。
 ポート: アクティベート時のポート番号
 プログラム: %ProgramFiles%\¥Alfatech¥AlfatechRLM¥rlm.exe

登録例: プログラム

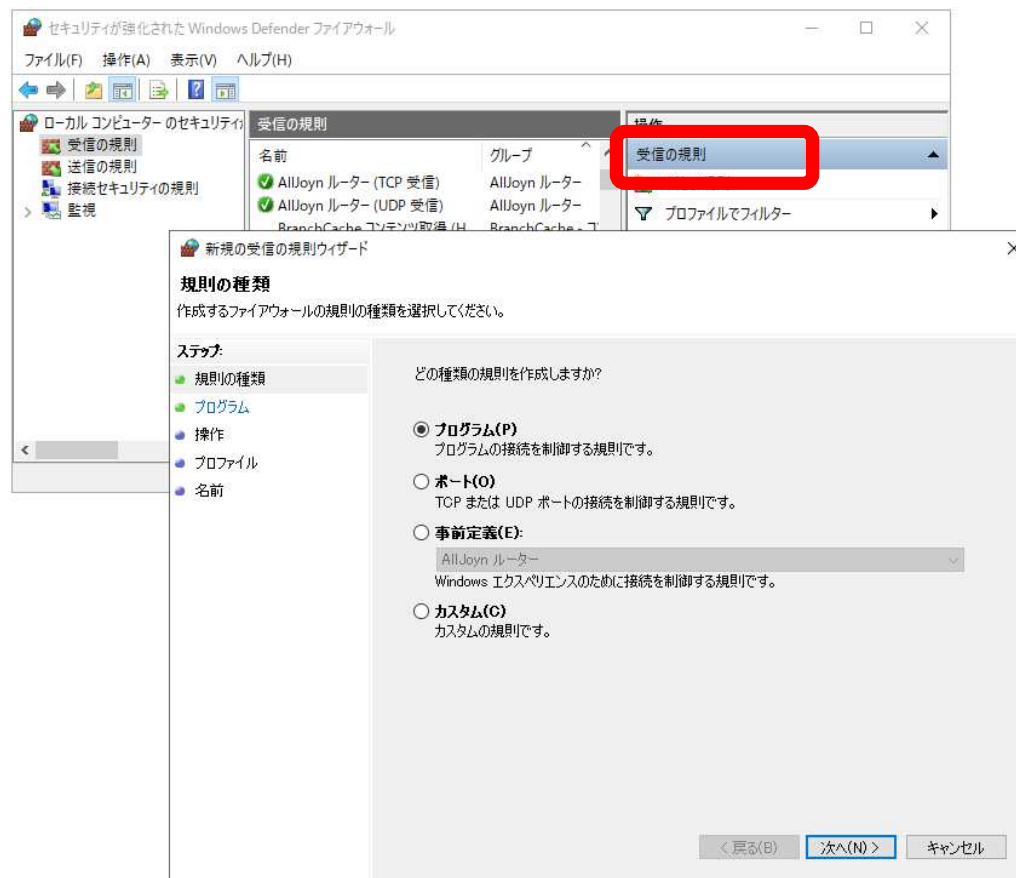


登録例: ポート



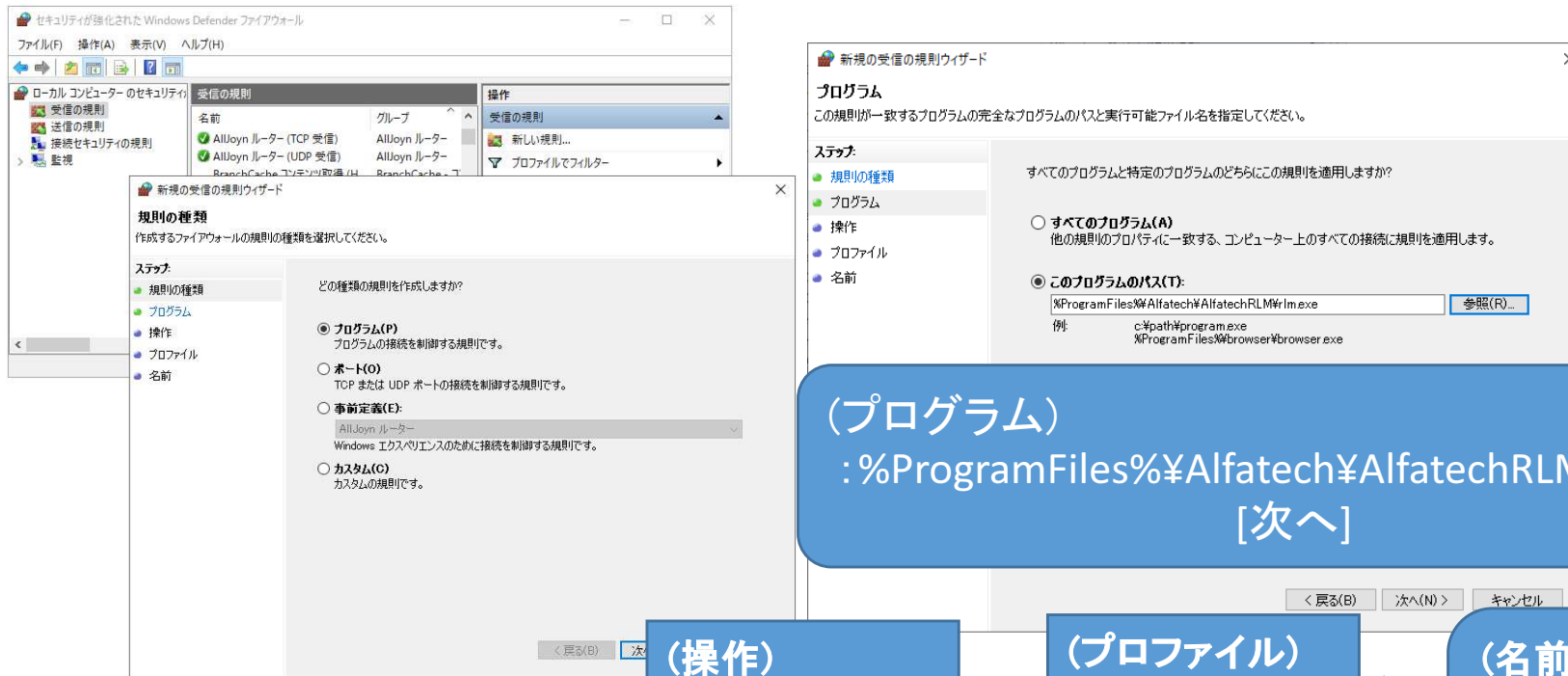
◆ ファイアウォール設定

- 右ペインの[操作]から「新しい規則...」をクリックし「新規の受信の規則ウィザード」を表示します。



◆ ファイアウォール設定

□ 「新規の受信の規則ウィザード」で「プログラム」を選択し、登録します。



(プログラム)
: %ProgramFiles%\¥Alfatech¥AlfatechRLM¥rlm.exe
[次へ]

(操作)
接続を許可する

[次へ]

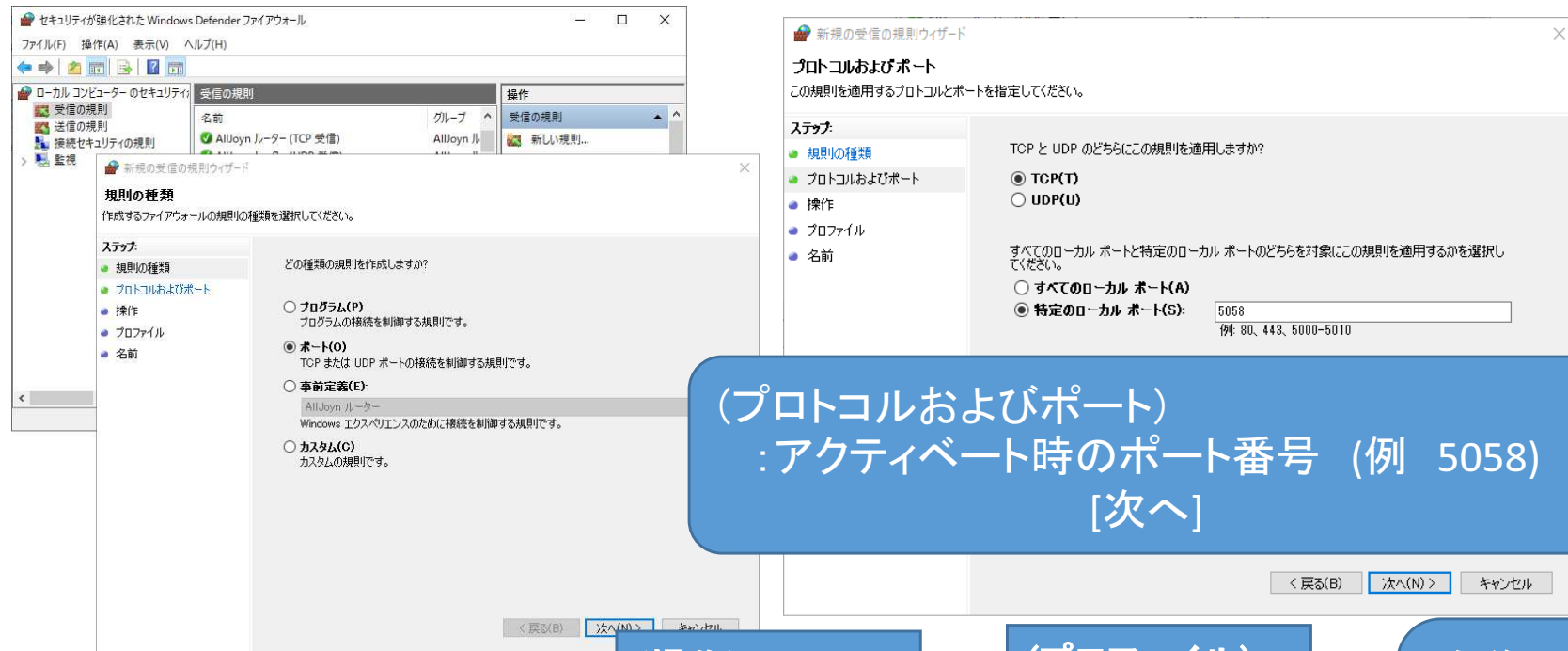
(プロファイル)
デフォルト

[次へ]

(名前)
任意
(例: alfa_rlm)
[完了]

◆ ファイアウォール設定

□ 「新規の受信の規則ウィザード」で「ポート」を選択し、登録します。



(プロトコルおよびポート)
: アクティベート時のポート番号 (例 5058)
[次へ]

(操作)
接続を許可する

[次へ]

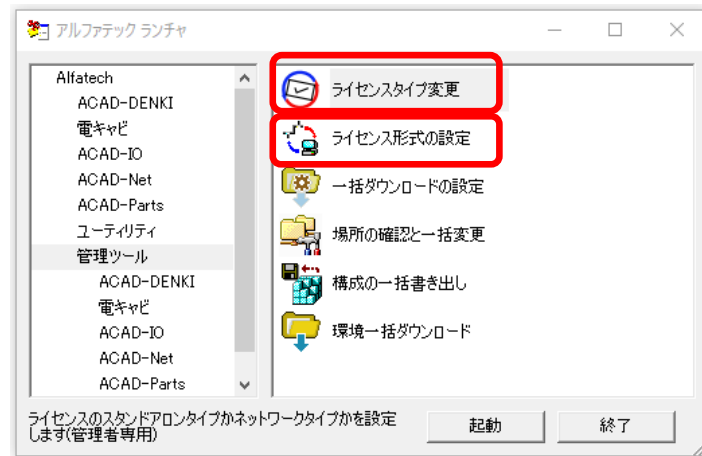
(プロファイル)
デフォルト

[次へ]

(名前)
任意
(例: alfa_rlm)
[完了]

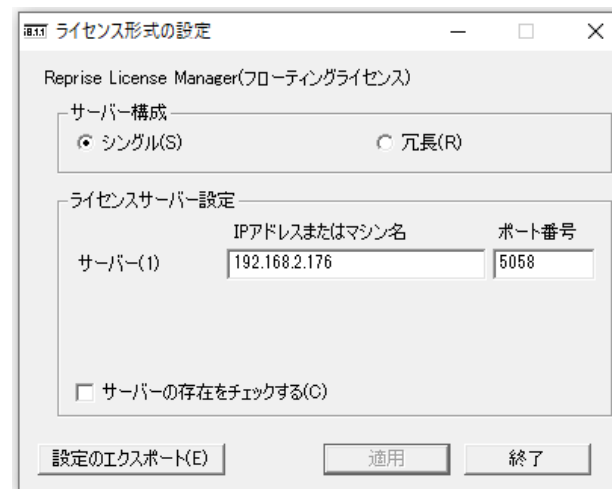
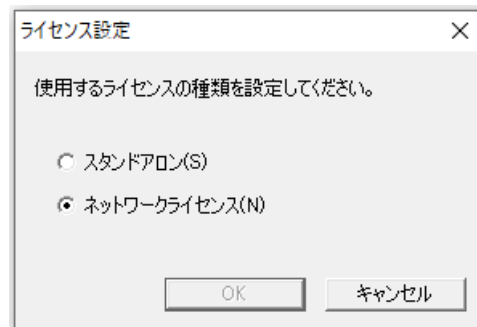
◆ クライアント設定

□ アルファテックランチャで、クライアント設定、ライセンスモニタの確認を行います。



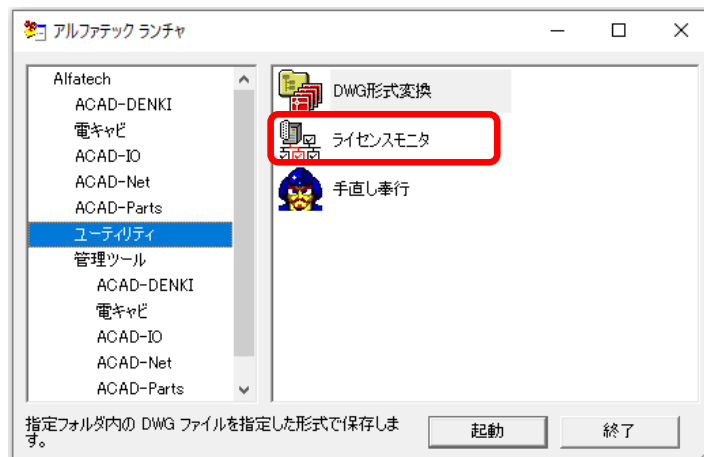
ライセンス形式の設定
サーバーには「IPアドレス、またはPC名を設定します。
イメージはIPアドレスの例です。

ライセンスタイプ変更



◆ クライアント設定

□ ライセンスモニタの確認を行います。



ライセンスモニタ



【冗長構成の場合】

ライセンスモニタダイアログ下側の「ライセンスサーバ」にはプライマリとフェイルオーバーの情報が表記されます。

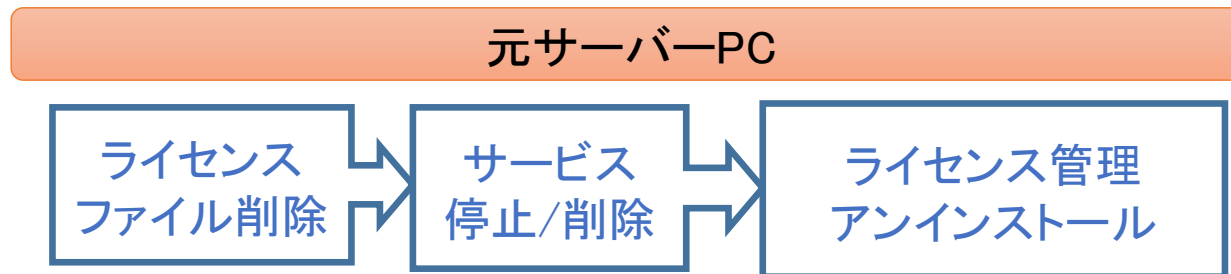
アクティベート解除

- オフラインアクティベート
 - ◆ オフラインアクティベート概要
 - ◆ オフラインアクティベートの仕組みと流れ①～④
 - ◆ オフラインアクティベート①準備、②送付
 - ◆ オフラインアクティベート④受領とインポート
- オフラインアクティベート/「新規手順」での構築
 - ◆ Windowsサービス登録/サービスの作成・確認
 - ◆ ライセンスサーバー管理/サービスの更新
 - ◆ ファイアウォール設定
 - ◆ クライアント設定
- アクティベート解除
 - ◆ アクティベート解除

◆ アクティベート解除

□ RepriseNWライセンスご使用の場合、アクティベート解除は行えません。

- RepriseNWライセンスアクティベート解除申請を行ってください。
- サーバーPCで下記の手順を行います。



□ 詳細手順は「サーバー変更」の下記ページを参照してください。

- ◆ ライセンスファイル削除
- ◆ サービスの停止・削除
- ◆ ライセンス管理サービスアンインストール